

高文連

高文連

第17号

山口県高等学校文化連盟

高文連

第 17 号

もくじ

あいさつ	1
山口県高等学校文化連盟各部門の報告	2
第27回山口県高等学校総合文化祭の記録	
総合開会式	15
(音楽関係 4 部門)	
器楽・管弦楽部門	19
合唱部門	20
吹奏楽部門	21
マーチングバンド・バトントワリング部門	22
日本音楽・吟詠剣詩舞部門	23
展示 3 部門 (美術・工芸、書道、写真)	24
囲碁部門	28
演劇部門	29
放送部門	30
将棋部門	31
文芸部門	32
第29回全国高等学校総合文化祭の記録	33
吹奏楽部門	35
マーチングバンド・バトントワリング部門	36
日本音楽部門	37
美術・工芸部門	38
書道部門	39
写真部門	40
囲碁部門	41
放送部門	42
将棋部門	43
文芸部門	44
演劇部門	45
自主事業	46

参考資料

平成17年度山口県高等学校文化連盟<事業報告・会計決算書>	51
平成18年度山口県高等学校文化連盟<事業計画・会計予算書>	53
山口県高等学校文化連盟規約・諸規定 (会計、事務局、表彰、旅費支給基準)	55
平成17・18年度山口県高等学校文化連盟役員一覧	60
全国高文連の歌	62



ごあいさつ

山口県高等学校文化連盟

会長 中島俊泰

「夢抱き 今こそ開け 文化の扉」のテーマのもと、「スターピアくだまつ」のステージいっぱいに、熱氣あふれる高校生の若い力を躍動させた「第27回山口県高等学校総合文化祭」の総合開会式をはじめ、県内各地で開催された各部門別発表大会は、多くの高校生や聴衆の皆様方に深い感動の渦を巻き起こし、それぞれ成功裡にその幕を閉じることができました。

開催期間中は、高校生諸君の芸術・文化活動に向けた真剣な眼差しや、自らに課した任務を懸命に果たそうとする姿が諸処で確認され、主催者としては、それぞれの大会から有形無形の教育的成果を得ることができたことを大変喜ばしく思っております。

また、豊かな自然と伝統ある郷土芸能など、自然と伝統が見事に融合した青森県で開催された第29回全国高等学校総合文化祭には、本県から延べ35校162名が参加し、青森の高校生による手作りの企画・運営の中で、心温まる歓迎を受けながら、参加生徒達は平素の精進によって培われた力を遺憾なく發揮することができました。

とりわけ、演劇部門に参加した華陵高校においては、若いみずみずしい感性が観覧者にさわやかな感動と深い感銘を与え、文化庁長官賞を受賞するとともに、憧れの東京国立劇場で優秀校公演を果たすという快挙を成し遂げ、生涯忘れることの出来ない思い出となりました。

その他、県高文連では、高校生諸君が水準の高い優れた文化や芸術にふれあう機会をつくり、感性を育み高めていくことを目的に、自主文化事業を企画しておりますが、今年度も音楽や演劇など、7公演を県内各校で開催し、好評のうちに終了することができました。

また、御案内のとおり、平成18年11月3日（文化の日）から10日間、「やまぐち発 心ときめく文化維新」をテーマに、我が国最大の文化の祭典である「第21回国民文化祭・やまぐち2006」が本県で開催されます。この国民文化祭では、次代を担う本県の子供達が豊かな感性や創造性を養うための基盤づくりとして、児童生徒が参加しやすい体験型プログラム（子ども夢プロジェクト）を企画するなど、子供達の文化環境づくりを進めることとしております。

本県高文連といたしましても、この国民文化祭を一つの契機として、高校生が様々な文化・芸術に親しみ、それぞれの個性や豊かな感性を育むとともに、仲間同士の交流によって、より質の高い新たな文化を創造し、更に大きく飛躍発展することを心から願うものであります。

終わりに、本年度も温かいご支援を賜りました県教育委員会をはじめ、関係各位に心から感謝申し上げまして、発刊の御挨拶とします。

山口県高等学校文化連盟<各部門の報告>

器楽・管弦楽部門

理事長 飯田幸生
(下関南高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部門では今年度、次のような事業を行いました。

1. 平成17年度第27回山口県高等学校総合文化祭総合開会式において慶祝演奏として合唱部門との合同演奏

- ・6月16日（木）
- ・曲目「大地讃頌」
「ハレルヤ・コーラス」
「翼をください」

*指揮／杉山道子

*参加出演／器楽・管弦楽部門 120名

2. 平成17年度第27回山口県高等学校総合文化祭 音楽4部門発表会

*6月17日（金）、18日（土）

*参加各校による弦楽・

ギター・マンドリン・管弦楽の演奏

*参加出演／7校約300名

3. 平成17年度山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部会

*12月5日（月）

下関南高等学校会議室
部会長以下出席者8名

*第25回器楽・管弦楽スプリングコンサート（岩国大会）、県総文、全総文、高文連表彰、役員改選などについて協議

5. 第25回器楽・管弦楽スプリングコンサート

*平成18年3月25日（土）

シンフォニア岩国

*参加7校によるギター・マンドリン、管弦楽などの演奏

※今年度は残念ながら全国総合文化祭への参加は有りませんでしたが、次年度の京都大会には必ず参加する予定です。山口県の器楽・管弦楽部門のレヴェルは全国的にみても、非常に高いものだと思います。次年度以降もますます、発展していくことを確信しています。

▼第27回山口県高等学校総合文化祭総合開会式（スタービアくだまつ）



合唱部門

理事長 三好五郎

(宇部中央高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟、合唱部門に関して行われた今年度の行事を報告いたします。

1. 山口県高等学校合唱講習会

(開幕式典に備えての講習会)

- ・平成17年5月29日（日）
- ・講師／石橋久和（島根県立邇摩高等学校教諭）
- ・内容／発声と曲作り
- ・曲目／“オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」”
“カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」”
- ・場所／宇部市文化会館
- ・参加者／9校 157名

先生は長年松江北高等学校の合唱部を指導されてきたご経験をもとに呼吸法・身体のリラクゼーション（生徒だけでも出来る）を教えていただき、続いて発声のご指導をいただいた。特に響きの掴み方は先生が実際に声を出され生徒

にやらせ、丁寧にその都度アドバイスをされ、まるで魔法にかかったように全体の声が変わっていました。午後はハレルヤと大地讃頌のレッスンをしていただいた。タクトテクニックもすばらしく、さすが毎年全国大会に出ておられる師のご指導であった。願わくば時間的にもう少し長く（できれば2日連続でも）ご指導を受けたいと感じた。

2. 平成17年度第27回山口県高等学校総合文化祭 開幕式典において慶祝演奏

- ・6月16日（木）
 - ・山口県高等学校管弦楽団との合同演奏
 - ・曲目／“オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」”
“カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」”
 - ・山口県高等学校合唱団／9校 174名
- 日ごろ小人数で活動している生徒達にとって、この大合唱は貴重な経験となりました。ステージの広さを心配していましたが、何とか乗ることが出来ました。

3. 平成17年度第27回山口県高等学校総合文化祭 音楽4部門発表会

- ・6月17日（金）、18日（土）
- ・スターピアくだまつ
- ・合唱部門出演者／6校 147名

4. 第29回全国高等学校総合文化祭

- ・7月31日（日）
- ・青森文化会館
- ・山口県代表／出演校なし

5. 平成17年度山口県高等学校文化連盟

合唱部会及び研修会

- ・12月5日（月）・宇部中央高等学校応接室
- ・出席者／部会長以下5名
- ・議題／県総文、全総文、高文連表彰などについて



吹奏楽部門

理事長 藤本博途
(岩国商業高等学校教諭)



平成17年度山口県高等学校文化連盟吹奏楽部門の活動状況を報告いたします。

1. 県総文総合開会式

総合開会式は、『夢抱き 今こそ開け 文化的扉』というテーマのもと、下松高等学校主管で平成17年6月16日（木）スターピアくだまつで盛大に開催されました。吹奏楽部門は周南地区高等学校合同吹奏楽団を編成し、熊毛北高校の梅本純子先生、華陵高校の近間弘子先生の指揮のもとで、式典並びに慶祝演奏に参加しました。

2. 県総文音楽4部門発表会・連合音楽会

総合開会式の翌日17日（金）、18日（土）の2日間、音楽4部門発表会・連合音楽会が同じくスターピアくだまつで開催されました。吹奏楽部門には51校1,913名の生徒が参加し、すばらしい演奏を披露してくれました。

3. 全総文青森大会

全総文青森大会は7月28日（木）青森市文化

会館で開催され、山口県代表として岩国商業高等学校吹奏楽部（藤本博途指揮）が出場しました。ハリソンの夢などを披露し、喝采を浴びました。

4. 高文連吹奏楽部会総会

本年度吹奏楽部会総会を1月29日（日）山陽小野田市文化会館で開催いたしました。県下40名の吹奏楽指導担当者が出席し、本年度事業報告や来年度事業計画、県総文の開催日程、全総文京都大会への参加推薦等の多くの協議事項に対して活発な意見交換がなされました。

5. 高文連吹奏楽部会研修会

総会終了後、部会研修会を開催いたしました。大阪市音楽団の演奏会を鑑賞し、指揮法や楽器演奏法に習熟しようとするもので、プロの指揮・演奏は大変参考になり、非常に有意義な研修会となりました。

マーチングバンド・バトントワリング部門

理事長 縄田道孝

(山口県鴻城高等学校教諭)

平成17年度山口県高等学校文化連盟マーチングバンド・バトントワリング部門の活動について報告いたします。

1. 第27回山口県高等学校総合文化祭

総合開会式における慶祝演奏

平成17年6月16日（木）にスターピアくだまつにおいて行われました。本部門では、山口県鴻城高等学校吹奏楽部のステージドリルと、誠英・慶進両高校のバトントワリング部との合同演技が披露されました。

・曲目「パイレーツ オブ ザ カリビアン」

2. 第27回山口県高等学校総合文化祭

音楽4部門発表会

本部門の発表は、平成17年6月17日（金）にスターピアくだまつにおいて行われました。マーチングバンドでは、山口県鴻城高等学校、バトントワリングでは誠英高等学校と慶進高等学校が出演しました。

3. 第28回全国高等学校総合文化祭

今年度の青森大会には、誠英・慶進両高校バトントワリング部が、山口県合同チームとして

参加しました。平成17年7月27日（水）青森市街で行われたパレード部門では、はつらつした演技で大会のオープニングに華をそえました。

7月29日（金）には弘前の青森武道館でマーチングバンド・バトントワリング部門が行われました。県合同チームは「義経」のテーマ曲に合わせて、息の合った演技を披露しました。

4. 平成17年度山口県高等学校文化連盟

マーチングバンド・バトントワリング部会

平成17年12月15日（木）に山口県鴻城高等学校で開催しました。5名の理事が出席され、県高総文祭、全国高総文祭、高文連表彰、部門研修などについて話し合いました。

5. 部門研修 -

バトントワリングでは、横山久美子先生を講師にお迎えし、5月と7月に講習会を実施しました。マーチングバンドでは、3月26日（日）27日（月）の2日間、国立山口徳地少年自然の家において山口県吹奏楽連盟と合同主催の講習会を実施。



日本音楽部門

理事長 田邊亨子

(早鞆高等学校教諭)



平成17年度山口県高文連日本音楽部門の活動状況を報告いたします。

1. 第27回山口県高等学校総合文化祭

総合開会式 慶祝演奏

6月16日（木）主管校である下松高等学校のご尽力により、スターピアくだまつにおいて、盛大な総合開会式が行われました。各専門部の紹介後は柳井高等学校箏曲部が慶祝演奏として、「薰る花」を叙情豊かに演奏されました。開会式にふさわしい当日の、穏やかな初夏の日差しのような演奏に心地よい時を過ごすことができました。

2. 第27回山口県高等学校総合文化祭

日本音楽・吟詠部門発表大会

6月18日（土）下関市民会館大ホールにて開催された発表会は、下関南高等学校の主管で行われました。箏曲に16校、吟詠1校、能楽1校、郷土芸能（和太鼓）2校、そして今年度新しく、三味線愛好会1校を加えた総勢161名の生徒達が、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。

日本音楽の発表会は箏曲の演奏が主ですが、ヴァイオリンや吟詠とのコラボレーションや能楽・和太鼓・三味線など興味深いプログラムで

構成されていました。なかでも10人の生徒が勢揃いした長唄三味線はとても、半年足らずの練習期間とは思えないくらい堂々としていました。全員1年生ということなので、今後の活躍が大いに期待されます。生徒の中には3年続けての参加者がいると思われる8校による合同演奏もすっかり安定し、演奏を楽しんでいるように見えました。今回は下関南高等学校の市河教頭先生と管弦楽部による哀愁を帯びたチェロ演奏の特別出演が「叱られて」の曲を一層引き立てて下さいました。発表会のスムーズな進行やご配慮とともに、下関南高等学校のご協力に心から感謝申し上げたいと思います。

3. 第29回全国高等学校総合文化祭青森大会

7月28日（木）29日（金）、石黒市市民文化会館に於いて、全国から53校韓国からの1校の参加で開催されました。

前々日からの台風上陸により波乱の幕開けとなつた青森大会は、県代表として参加された下関南高等学校にとって現地到着までが、まず大きなご苦労であったと思います。しかし各県から選ばれた各高校の意気込みがそんな悪天候を吹き飛ばし、リハーサルの時から熱のこもった演奏を繰り広げていました。主観ではありますが、古風な伝統的な、優雅といった箏曲の持つイメージは全く覆され、素晴らしいパフォーマンスに息を呑んで見入ってしまいました。層の厚さを実感させる全国大会の演奏を肌で感じることが出来た感動を是非、後輩へ引き継ぎ山口県の日本音楽発展とより一層のレベルアップに役立てていただきたいものだと思います。

美術・工芸部門

理事長 古賀 隆光
(宇部高等学校教諭)

平成17年度美術・工芸部門の主な活動について報告いたします。

1. 県高等学校総合文化祭総合開会式慶祝展示

スターピアくだまつのエントランスホールにおいて下松、華陵、新南陽各高校から23点の作品が出品され、総合開会式に華をそえてくれました。各学校が部活動に励んでいる姿が感じられる良い展示でした。

2. 全国高等学校総合文化祭<青森大会>

作品展示は八戸市体育館で行われました。全国から370点の出品があり、いずれもレベルの高い作品ばかりで見応えのあるものでした。その中にあって、本県から出品された絵画3点、デザイン1点、彫刻1点は、全国の中でもしっかりと個性を醸し出していたように思います。全国に目をやると、平面作品では、やはり50号の油彩作品が多かったようですが、例年に比べると30号程度の作品も多かったように思われます。小さな作品でも、密度の高い充実した作品だと、全然見劣りをしないものだなどと改めて感じました。立体作品は、様々な素材を駆使して多様な表現がなされていました。床面1m×1m×高さ2m以内という規定をぎりぎりに使った作品も数点あって、規定内にいれるのに苦労している様子がうかがえました。

さて、諸行事についてですが、女子美術大学名誉教授・佐野ぬい先生の講演があり、佐野先生の高校時代の作品なども写されて、興味深いものでした。また、その講演のなかで、全国展出品作品を約30点取り上げ、講評されました。佐野先生らしいコメントを楽しく聞かせてもらいました。交流会は「ふるさとの絵馬（板絵）」の色彩制作ということで、あらかじめ考えてき

たアイディアを板にアクリル絵の具で描いていくというものでした。グループに分かれて、時々話をしながら、なごやかな雰囲気で楽しい時間をすごしているようでした。

毎年全国の作品を見ていると、同じ学校から同じような作品が毎年出ている場合がある事に気づきます。確かにある程度のレベルはあるのですが、どこか型にはまった感じがしてきます。全国に選ばれることは難しいことです。ある程度型があった方が早道かも知れません。唯、そこで生徒が創造性という大切なものを、見失わないようにしてやらなければいけないと思います。そんなことを考えた全総文でした。

3. 県総合文化祭展示部門

『第27回山口県高総文祭の記録』に掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

4. 美術・工芸部連絡協議会

今年の連絡協議会は、9月30日（金）に宇部高等学校で行いました。18名の参加ということで、やや淋しい感じの協議会となりましたが、積極的な意見も多く出され、充実した協議会になったように思います。年に一度美術・工芸部顧問が、部活動の問題点あるいは県総文のあり方について意見交換をする場です。もっと多くの顧問の参加を期待しています。



書道部門

理事長 有富由美
(防府高等学校教諭)

平成17年度山口県高文連書道部門の主な活動について報告いたします。

1. 山口県高校総合文化祭総合開会式慶祝展示

スターピアくだまつでの総合開会式では周南地区より徳山、下松、新南陽、鹿野の各校からの作品を展示しました。明るく開放的なスター ピアのエントランスホールは、高校生の若いエネルギーでますます活気に満ちていました。

2. 第7回高文連書道部会生徒研修会

今年の研修会は7／16（土）例年通り防府高校を会場にして実施されました。内容は午前中は特大筆を使っての一寸創作、午後からは臨書共同作品「唐四大家の楷書」の制作に取り組みました。参加者は県内6校より25名、顧問9名と例年通り賑やかに行われ、会場の多目的教室は猛暑の中、参加者の熱気でさらに気温が上昇しているように思われました。

初めは使い慣れない長鋒の特大筆のためか、緊張して恐る恐るだった運筆も、先生方の熱心なアドバイスのおかげで次第にダイナミックな表現へと変化し、短時間の間に記念すべき一枚を仕上げることができたようです。午後からの共同作品の制作では授業で学習する基本的な古典の臨書でしたが、それぞれの書家の書風が表

現できるよう一

生懸命臨書する姿は見ていて頬もしく、各校の先生方からアドバイスを受け練習を重ねるうちにそれが次第に一つの表情として完成していく過程には感心させられました。

お忙しい中、引率や指導に協力して頂いた諸先生方の御協力のおかげで、今年も意義深い一日となりましたこと心より御礼申し上げます。

3. 全国高等学校総合文化祭＜青森大会＞

本年度の全総文祭は、青森県八戸市で開催されました。東北新幹線の終着駅である八戸駅では巨大な県企画展の共同作品が出迎えてくれ、全国大会のムードを盛り上げていました。その八戸駅に隣接する展示会場の「ユートリー」も全国から出品された県代表作品が迫力いっぱいに展示され、創意工夫の凝らされた作品の数々に全国のレベルを目の当たりにさせられました。

山口県からは、防府、宇部中央、下関西、下関第一の四校が代表として出品しましたが、どの作品も古典にまじめに取り組み、しっかりと書き込まれた好感のもてる作品であったと思います。また、今年から実施された審査により、中国ブロックより一点の奨励賞と二点の特別賞が選ばれましたが、その奨励賞に、防府高校の中村沢紀子さんの作品が選ばれ表彰されました。このように山口県から最高賞が出たことは大変

喜ばしいことであり、これからこの賞が全国大会に参加する際の大きな目標となり、ますます充実した全国展になることを期待しています。



写真部門

理事長 佃 幸憲

(光高等学校教諭)

平成17年度の山口県高文連写真部門の活動状況についてご報告致します。

1. 平成17年度 第27回山口県高等学校

総合文化祭 総合開会式での慶祝展示

今年度は、6月16日（木）から18日（土）まで、下松市のスターピアでの開催となりました。写真部門では例年、前年度の山口県総合文化祭展示部門（長門大会）にて優秀作品に選ばれ、今年度の全国高等学校総合文化祭写真部門（青森県で開催）出品候補作品として選ばれた5点を、期間中に慶祝展示しています。

今年度は以下の5点の出品となりました。

（すべて全紙・モノクロ・単写真）

下松工業高校 3年 山根佳孝 作「波紋」

山 口 高 校 2年 作間寛子 作

「visibilityー秋の1コマー」

宇部工業高校 3年 中尾将太 作「仲間」

同 上 2年 倉本祐貴 作「ぼくらの砦」

高 水 高 校 2年 河郷 裕 作

「はちきれる青春」

会場入口周辺の広いスペースに展示でき、多くの高校生、来場者の方々に質の高い高校生の作品を見てもらうことができました。展示された作品の中には、7月の青森県での全国大会で奨励賞を受賞した作品もありました。（2、をご参照ください。）

主管校である下松高校の脇 和典先生を中心に、慶祝展示の設営にご協力頂いた下松高校の石丸康夫先生並びに周辺校の関係役員の先生方、出展にご協力頂いた顧問の先生、写真部員の皆さんに感謝致します。

2. 平成17年度 第29回全国高等学校

総合文化祭 写真部門（青森大会）

7月27日（水）から31日（日）までの5日間、青森県むつ市にあります・むつ市民体育館にて開催されました。平成15年度の福井大会において、宇部工業高校の作品が全国奨励賞を受けま

したが、今年度も同校が入賞しました。

（作品総数298点、うち最優秀賞3点、優秀賞10点、奨励賞20点）

【全国奨励賞 受賞作品】

宇部工業高校 3年 中尾将太 作「仲間」

（全紙・モノクロ・単写真）

子供4人がポーズを取った作品ですが、審査員より「子供それぞれが表情豊かで、その中に動的な子供が写っているのがアクセントとなり面白い。背景の仕上げも良い。」との評価でした。モノクロの撮影・仕上げ技術の評価がとても高い作品です。また人物を撮影する場合、撮影者と被写体となる人物との心の通い合いがしっかりできていることも重要です。この作品は、まさに作者と子供達の心が一体となった、優秀作品です。

青森大会への参加生徒からの感想・報告については、全国大会の記録のページをご覧下さい。なお、平成18年度の第30回全国大会は、京都府で開催される予定です。

3. 平成17年度第27回山口県高等学校

総合文化祭 展示部門（防府大会）

10月27日（木）から29日（土）にかけて、防府市地域交流センター「アスピラート」にて開催され、最終日の午前中には例年通り撮影会を催しました。防府地区各高校の運営委員の先生方、並びに補助員生徒の皆さん、お世話になりました。大会の詳細については、県総合文化祭（展示部門）の報告をご覧下さい。



囲碁部門

理事長 松田伸雄
(宇部高等学校教諭)

かつては教職員の間での囲碁人口は多かったように思います。校内囲碁大会も行われていた学校もありました。囲碁の指導者には事欠かない状態でしたが、生徒会の囲碁部はあまりなかったようです。現在は逆に囲碁部（含む囲碁将棋部）のある高校は20校近くに達し、指導者不足の様相を呈しています。顧問になってから囲碁に目覚めたという先生も多いようです。棋力で勝る生徒と放課後のひと時、「碁打ちの仲間『勝てばかわいい、負ければ憎い』と」師弟関係を忘れ和やかに過ごしている先生も少なくないようです。

定石・駄目・岡目八目などの言葉は、囲碁が日本の文化を代表するものの一つである事を如実に示しています。「切った」「死んだ」とか激しい言葉も行き交うが、信頼と優美さに裏打ちされた、ベストセラーの「下流社会」という本でいう「下流社会」にはない高級な娯楽です。碁を打ちながら「大局をみよ」「金持ちけんかせず」「しちょうを知らずに碁を打つな」など、先輩から聞かされる文句は、そのまま処世訓・人生訓になります。

碁のルールはすごく単純です。白と黒の石をもって交互に一つずつ石を置き（打ち）地の取り合いをする、早く言えば石取りゲームです。囲まれてしまえば取られます。（死にます。）どこに打っても自由です。しかし、勝つためには自由はない。必然性がある。これが難しい。碁の奥深さは尽きません。コンピューターの棋

力も名人にはまだ及ばないようです。高校生の若い頭脳が碁に触れ、論理的思考力や集中力を涵養することは、以後の人生を豊かなものにしてくれること請け合いでいます。多くの高校生が囲碁に触れることを願っています。

平成17年度の活動について簡潔に報告します。

1. 第27回山口県高等学校総合文化祭

総合開会式慶祝展示

6月16日～18日スターピアくだまつで開催された県総文祭に、慶祝展示として対局風景の写真パネルを4枚展示しました。

2. 第27回山口県高等学校総合文化祭

囲碁部門第17回大会

10月23日（日）山口県立宇部高等学校において開催されました。参加校は13校、65名の生徒諸君が日頃培った棋力を發揮してくれました。スイス方式に準じ4回対戦し勝敗を基に、審判団の判定により18年度全国高校総文祭京都大会の出場者と12月下旬の中国大会の出場者を選抜しました。昇段昇級者も多数でした。これも、この大会の魅力の一つです。また、参加生徒の対局態度、礼儀のよさも好印象をもたらしました。

3. 山口県高等学校文化連盟囲碁部門研修大会

18年2月5日（日）に例年どおり「山口南総合センター（小郡）」において、全国大会出場選手を中心に、選手の棋力向上を期し、研修大会を開催しました。県在住のプロ棋士の指導碁もあり充実した一日を過ごしました。



演劇部門

理事長 村岡 圭吾

(山口県鴻城高等学校教諭)

<華陵高校再び夢舞台へ>

平成16年度山口県代表の華陵高校が『報道センター123』で昨年の中国大会を突破し、今年の全国総合文化祭（演劇全国大会）に出場しました。全国でも優秀賞に輝き、国立劇場東京公演、NHK-B S放送と走り抜けました。華陵高校の部員諸君、本当にめでとうございます。そして、お疲れさまでした。（全国でものびのび演技していましたね。）

第43回中国地区高等学校演劇発表会

今年度の中国地区発表会は広島市安佐南区民文化センターで開催されました。山口県からは宇部高校と華陵高校の出場でした。会場は大道具置き場が少なくエントランスホールを仕切って置いてあり、色々な道具の裏事情がよく分かりました。どの道具も中国大会ともなると立派なものが多かったです。大会結果は華陵高校が春の劇団四季自由劇場の大会に推薦されました。宇部高校の演技も素晴らしい、会場は笑いの渦に巻き込まれていました。

ここ数年山口県代表が中国ブロック大会にて好成績をおさめています。県内の他の学校にも良い刺激になっています。

<やまぐち発 心ときめく 文化維新2006>

平成18年に国民文化祭が山口県で開催されます。推進委員の私はワークショップに参加したり、企画会議や創作劇の打ち合わせなど多忙な毎日を過ごしています。もうそろそろ事務局も交替だと思っていますが、中国大会をひかえている担当地区としてはなかなか、交替もさせてもらえないのが現状です。平成19年の中国大会は山口情報芸術センターで開催予定です。

<講習会・地区大会・県大会>

本年度の演劇講習会は11月9日山口情報芸術センターで開催しました。講師は「演劇集団・円」の演出家、阿部初美氏にお願いしました。

内容は参加生徒63人が演技の技術向上や練習の仕方などを学びました。また今年度はセンタ

ーのスタッフの協力により、照明・音響効果の演出や舞台装置作りなど、日頃裏方として活躍している生徒にとって役に立つ講習ができたと思います。

地区大会は周防・山防・宇部・下関の4地区で8月の下旬に行われました。

現在加盟校数30校ですが、各地区大会で上演できたのは25校にとどまりました。例年のことですが、各地区とも観客の動員や出演校の減少に頭を悩ませていました。ある地区では観客の数が少なすぎて、審査員の方が多い時間帯があったそうです。演劇は上演する生徒は勿論、見る側にも何らかの化学反応を示します。関係生徒や保護者だけでなく一般の方にも広く観劇してもらえるように技術向上だけでなく、広報や宣伝にも力を入れていかなければならぬと感じました。

県大会は昨年のビデオ審査の反省から、まず地区大会からの出場枠を4校上演につき1校出場という昨年の規定を、3校上演につき1校と改正したために、全国大会に出場した華陵高校を加え（華陵高校は地区大会免除）、9校での県大会となりました。

県大会を盛り上げていこうという気持ちで規約を改正したのですが、それでもいくつか出場枠についての問題（地区大会免除の華陵高校は分母に入れるのか…）があり、事務局は対応に追われました。結局、周防地区は華陵高校を除き、5校から2校選出されるということになりました。他地区との多少の不公平感はあったかもしれませんのが、県大会が9校の上演ということでお、例年なく盛り上がった大会だったよう思います。会場は宇部渡辺翁記念会館でした。観客席は綺麗になって改装されていましたが、相変わらず制約の多い、歴史を感じさせるホールでした。参加校数の少ない宇部地区の主管で行われた大会ですが、生徒・教員皆さんの頑張りで素晴らしい大会が行われたことに感謝いたします。

放送部門

理事長 吉川佳子

(山口高等学校教諭)

1. 県高校総文祭総合開会式

下松高等学校主管のもと、6月16日スタートビ
アくだまつにて、県高校総文祭総合開会式が行
われました。進行は下松高校放送部の皆さんで
した。翌日からの音楽部門の発表会では下松高
校をはじめ、華陵・光・徳山・新南陽高校のみ
なさんが幕間のインタビュー等を分担してやっ
てくれました。各団体から事前にインタビュー
内容の原稿を集めて準備したそうです。

2. 全国総文祭・青森大会

7月30日、31日の2日間、青森県三沢市の三
沢市公会堂で開催されました。羽田で乗り換えた
三沢行きの飛行機は米軍帰還兵が多く乗り合
わせていて機内は英語が乱れ飛んでいました。
空港には出迎えの家族が大勢いて、ひとしきり
のにぎやかな歓迎の後、皆で円陣となって手を
つなぎ、祈りを捧げていました。基地の町なん
だと実感しました。三沢空港はまさに米軍基地
の中にあり、戦闘機が飛んでいます。タクシー
の運転手さんが「『トップガン』みたいでしょ。」
と言っていましたが、今時の高校生には往年の
名画（？）らしくぽかんとしていました。

青森はさすがに涼しく、連日猛暑で夏バテ気味の体にはいい避暑になりました。青森も例年
に比べると暑い夏なのだそうですが、山口の比
ではありません。最高気温が25度程度で冷房は
いらないくらいです。宿泊した古牧温泉の古牧
グランドホテルは露天風呂をはじめ、広い敷地
の中にいろいろな温泉があり、毎日いろいろな
お風呂に入ることができます。収容人数の多い

ホテルで、他県の生徒と交流している生徒もい
ました。

青森といえばりんごが有名ですが、閉会式で
入賞者の副賞としてりんご一箱（収穫期に発送）
がつくというアナウンスがあったときには会場
には羨望のため息がもれました。残念ながら山
口県でりんごのもらえるところはありませんでした。

3. 県高校総文祭放送部大会

11月5日（土）に山口市のニューメディアア
ラザ山口で開催されました。11月にしては汗ば
むくらいの日で会場には冷房が入っていたので
すが、京都大会に向けての出場者の熱気のほうが勝っていたように思います。

4. 県放送部研修会

3月にNHKのアナウンサーによるアナウンス・
朗読の講習会を開催しました。



将棋部門

理事長 岡 茂樹

(防府高等学校教諭)

将棋部門が山口県高等学校文化連盟に加盟して10年目になりました。事務局は防府高校で、例年通り3つの事業を実施しました。

1. 山口県高等学校総合文化祭

総合開会式の慶祝展示

岩国高校および下松高校担当で、6月16日(木)から18日(土)にかけてスタービアくだまつを会場に開催された総合開会式で、将棋部門大会の様子を撮影したパネル写真を展示しました。頭脳のスポーツと言われる将棋の対局風景に、脳に汗をかいて戦っている高校生の様子を感じていただけたでしょうか。

2. 第27回山口県高等学校総合文化祭

将棋部門大会 兼

第41回全国高等学校将棋選手権大会県予選
防府高校の担当で、5月28日(土)29(日)の2日間、防府市文化福祉会館で開催されました。
16チーム55名の参加で、初日は団体戦。2目目は13校81名の参加で、男女の個人戦が繰り広げられました。団体戦は宇部高校が8連覇の大偉業を達成しましたが、準優勝の多々良学園高校とは僅差の勝負でした。ほとんど勝ちの局面での大逆転は、観客をうならせ、宇部高校の伝統の力を見せつけました。また、個人戦は岩国高校どうしの決勝戦となり、大熱戦の末、先輩の藤里君が貫禄の優勝を飾りました。一昨年から、団体戦と個人戦の両方に参加できるようになり2日間で100名を越える参加者の大会となりました。また、日本将棋連盟の山口支部の先生方の熱心なご指導も受けることができ、大盛況の2日間でした。

3. 山口県高等学校文化連盟将棋専門部研修会

防府高校の担当で、11月6日(日)に防府市文化福祉会館で開催しました。先生方は大会運営の研修と情報交換。生徒は、対局を中心とした棋力向上を図る内容でした。1・2年生を中心に昨年を大幅に上回る15校、66名の参加がありました。北村公一アマ六段の御協力を得て指導対局、大盤解説をしていただきました。

研修対局の結果

○男子／1位 中谷隆太郎(岩国高校1年)

2位 山本真一郎(宇部高校2年)

3位 中村俊一郎(新南陽高校2年)

3位 古谷 充俊(徳山高校2年)

5位 山須 恭平(宇部鴻城高校1年)

5位 林 真佑(下関西高校2年)

5位 松本 幸士(防府西高校2年)

5位 小野 純平(徳山高校2年)

○女子／1位 長本 尚子(宇部高校2年)

2位 横田 仁美(防府高校2年)

3位 石田ともみ(徳山高校1年)

なお、年末に山口市で行われた中国大会では、松本君が第六位、長本さんが第二位にそれぞれ入賞しました。

中国地区高等学校将棋選手権大会

主催：中国地区高等学校文化連盟 将棋専門部



文芸部門

理事長 森山和子
(高森高等学校教諭)

今年度の文芸部門の活動状況を報告します。

1. 山口県高校総合文化祭総合開会式慶祝展示

文芸部門は、第2回文芸コンクール入賞者が自身の受賞作のイメージを絵画等に描き、額装にしたものを作成し、10点展示しました。あわせて県内の各高校の文芸誌及びコンクール作品集を展示しました。

2. 全国高等学校総合文化祭青森大会

7月27日（水）から31日（日）の5日間、青森県弘前市文化会館を会場として、全国総文祭文芸部門大会が開催されました。山口県からは、山口中央高校2名、長府高校1名、下松高校1名の計4名が参加しました。

太宰 治の生家である斜陽館を訪ねる文学散歩、全体会での方言くらべ等、青森の高校生達の苦心と熱意が感じられ、感銘深い大会でした。

小説・詩・短歌・俳句・文芸誌の各分科会では、即興での創作や参加者の作品についての合評会が行われ、和やかで有意義な大会になったようです。

3. 文芸部夏季研修会

8月16日（火）山口南総合センターを会場に文芸部門研修会を開催しました。

猛暑の中、10校22名の参加者が、短歌を作って、交流を深めました。また、秋の大会のため



に役割分担について話し合いを持ちました。

4. 第3回文芸コンクール

今年度の県コンクールには133作品の応募があり、この中から最優秀1、優秀3、入選14、学校奨励賞2を選びました。

作品数は昨年とほぼ同数ながら、小説の応募が増加傾向にあり、力作ぞろいで内容の濃い作品集になったと思います。

5. 平成17年度文芸部門大会

10月22日（土）スタービアくだまつにて今年度の文芸部門大会を開催しました。午前の分科会を始め、午後の講演会、コンクール入賞者の表彰式と充実した一日を過ごしました。

6. 高校生文芸道場中国ブロック大会

11月12日（土）文芸道場中国ブロック大会が島根県出雲市の大社文化プレイスを会場に開催され、山口県からは、早鞆高校から2名が参加しました。島根県は2年後に全国高校総文祭を引き受けることもあって、運営面で生徒がよく動いているという印象を受けました。

大会にあわせて行われた作品コンクールには山口県から5校が応募し、文芸誌部門で山口高校が最優秀に選ばれるなど優秀な成績を上げました。今後も大いに期待できます。



第27回 山口県高等学校総合文化祭の記録

総合開会式

会場：スターピアくだまつ

主管校 脇 和典
(下松高等学校教諭)



第27回山口県高等学校総合文化祭総合開会式は『夢抱き 今こそ開け 文化の扉』のテーマのもと、平成17年6月16日（木）13時からスターピアくだまつを会場として、盛大に開催されました。例年どおり、翌17日（金）からの2日間にわたり開催された、音楽4部門発表会との同時開催であり、3日間で延べ3,000名余りの生徒が県下各高等学校から参加しました。周南地区による開催のため、主管校である下松高等学校のみならず、周南地区各高等学校の御協力を得て前年度から計画・準備を行い、万全を期して臨んだ大会でした。

総合開会式は、藤井俊彦山口県教育委員会教育長、井川成正下松市長をはじめ、多くの来賓の御臨席のもと、華やかな中にも厳肅に行われました。

式典は、下松高等学校生徒代表・水木 智君によるはつらつとした開会宣言とともに、周南

地区高等学校合同吹奏楽団が演奏する華やかなファンファーレで開幕しました。続いて「高文連の歌」の演奏のもと高文連14部門のプラカードが入場し、ステージ上の式典態勢が整いました。

山口県教育委員会教育長及び山口県高等学校文化連盟会長による「志をともにして集まった県内の多くの仲間たちと、時と空間を共有して相互に交流することにより、この総合文化祭が新たな発見と感動を体験できる場となり、この総合文化祭を通じて、若い感性に磨きをかけ、友情と交流の輪を大きく広げ、新たな文化創造の原動力となることを心から期待する」とのあいさつに続き、主管校生徒代表・坂田晃一君が「個々の主張や特性を最大限に引き出し、個性が互いに協調・調和して文化となること、この総合文化祭を通じて、「文化の扉」を開くお手伝いを下松高等学校、周南地区各高等学校が担

いたい」とあいさつしました。下松市長による歓迎のことばの後、山口県高文連表彰へと移りました。「功績賞」は池田瑞江先生でした。高校合唱部の指導・育成にあたり、高校文化活動の充実に多大な功績を残されたことを讃え表彰されたものです。

「優秀芸術文化賞」は、第28回全国高等学校総合文化祭（徳島大会）放送部門ビデオメッセージ部門で優秀賞を受賞した岩国総合高等学校放送部に授与されました。又、今年度の山口県高等学校総合文化祭のテーマに選ばれた下松高等学校3年生池田奈菜子さんに「テーマ最優秀賞」が授与されました。式典の最後に山口県高文連各専門部の紹介が行われ、休憩の後慶祝演奏に移りました。

慶祝演奏は、山口県鴻城高等学校マーチングバンド部及び誠英高等学校・慶進高等学校各バトンツワリング部の合同による華麗なステージで開幕し、会場全体が盛り上がりました。続いて柳井高等学校筝曲部による「薰る花」の演奏、周南地区高等学校合同吹奏楽団による演奏、山口県高等学校合唱団及び山口県高等学校管弦楽団による「ハallelヤ」、「大地讃頌」が壮大に演奏され、圧倒的な迫力と感動が会場を包みました。最後に会場の全員で「翼をください」を合唱し、2時間におよぶ総合開会式は幕を閉じました。なお、すべての進行及びアンサンスは高文連放送部会の御協力により下松高等学校放

送部が担当しました。下松高等学校及び華陵高等学校からは、多数の生徒が会場に参集し、文化部以外の生徒も高文連の活動のすばらしさを感じてくれたのではないかと思われます。

総合開会式と並行して行われた慶祝展示は、スターピアくだまつエントランスホールにおいて美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、演劇、文芸の7専門部で行われました。展示会場として商業施設と隣接したスターピアくだまつの1階エントランスロビーを設定したため、例年以上の多くの観覧者が来場され、好評となりました。

今回、総合開会式を下松高等学校が主管校として開催しましたが、翌日からの音楽4部門発表会は周南地区4部門関係の先生方を中心に放送専門部の御協力により盛大かつスムーズに進行することができました。その他、会場外駐車場や車両誘導等において周南地区高等学校の実行委員の先生方には大変お世話になりました。今回の総合開会式の担当者として、初めてのことでのかなりの労力を必要とする時期もありましたが、周南地区の音楽関係の先生方の御尽力及び校内外の絶大な御支援のおかげにより、重責を果たすことができたのではないかと思います。

最後にこの大会を開催するにあたり、地元下松市をはじめ、関係諸機関、多くの先生方の御支援を賜り、無事終了することができましたことを衷心よりお礼申し上げます。





▶岡村裕太（下松高校）くんの
イラストを基にしたポスター



山口県立大学附属中学校

▲来賓、表彰者



▶受付風景



▼慶祝展示



◇慶祝演奏

＜マーチングバンド・バトントワリング＞

『パイレーツ オブ ザ カリビアン』

【演奏】山口県鴻城高等学校吹奏楽部

(指揮) 繩田道孝

誠英高等学校・慶進高等学校

各バトントワリング部

＜日本音楽＞

『薰る花』

【演奏】県立柳井高等学校箏曲部

＜吹奏楽＞

『スプリングマーチ』

『童謡メドレー』

【演奏】周南地区高等学校合同吹奏楽団

(指揮) 近間弘子

＜合唱、器楽・管弦楽＞

“オラトリオ《メサイア》より

『ハレルヤ・コーラス』”

“カンカータ《土の歌》より『大地讃頌』”

【演奏】山口県高等学校合唱団

山口県高等学校管弦楽団

(指揮) 杉山道子

＜全員合唱＞

『翼をください』

【演奏】山口県高等学校合唱団

山口県高等学校管弦楽団

(指揮) 杉山道子

＜放送＞幕間出演及び進行アナウンス

山口県高等学校文化連盟放送部会

◇慶祝演奏出演校

【マーチングバンド・バトントワリング】

山口県鴻城 誠英 慶進 … 各高等学校

【日本音楽】柳井高等学校

【周南地区高等学校合同吹奏楽団】

光 光丘 熊毛北 下松 華陵 徳山

徳山商業 徳山工業 新南陽 聖光

…………… 各高等学校

【山口県高等学校合唱団】

野田学園 山口中央 中村女子 岩国

防府 萩 宇部 宇部中央 サビエル

萩光塩学院 ……………… 各高等学校

【山口県高等学校管弦楽団】

下関南 下関第一 山口中央 防府 柳井

…………… 各高等学校

◇慶祝展示

＜美術・工芸＞ 下松 華陵 新南陽

…………… 各高等学校

＜書道＞下松 徳山 新南陽 鹿野

…………… 各高等学校

＜写真＞下松工業 山口 宇部工業 高水

…………… 各高等学校

＜囲碁＞宇部高等学校

＜将棋＞下松 岩国 ……………… 各高等学校

＜演劇＞華陵 宇部西 ……………… 各高等学校

＜文芸＞山口中央 長府 下松 防府 西京

徳山 萩 ……………… 各高等学校

◇進行アナウンス

下松高等学校放送部

山口県高等学校文化連盟放送部会

◇山口県高等学校文化連盟 表彰者

【功績賞】

・池田瑞江

三十数年にわたり、高校合唱部の指導・
育成にあたり、本連盟の発展と本県高校文
化活動の充実に多大な功績を残した。

【優秀芸術文化賞】

・山口県立岩国総合高等学校放送部

【第28回全国高等学校総合文化祭放送部門

ビデオメッセージ部門優秀賞】

【テーマ最優秀賞】

・山口県立下松高等学校 池田奈菜子

第27回山口県高総文祭の記録

音楽関係4部門発表会

器楽・管弦楽部門

会場：スターピアくだまつ

理事長 飯田幸生
(下関南高等学校教諭)

平成17年度第27回山口県高等学校総合文化祭の音楽関係4部門発表会は6月17日(金)、18日(土)の2日間にわたりスターピアくだまつにおいて開催されました。また、前日16日の総合開会式においては、満員の聴衆のもと、合唱部門との合同で式典の慶祝演奏を行いました。

今年度も去年に引き続き合同オーケストラを編成し、県下5校の管弦楽部の代表達が集い、100名を越える大編成で演奏できました。演奏曲目は去年に引き続き、ヘンデル作曲のオラトリオ「メサイア」から“ハallelヤ・コーラス”そして佐藤眞作曲のカンタータ「土の歌」より“大地讃頌”的2曲を演奏しました。今年も合同練習は当日の午前中のみという厳しい状況の中、下松高等学校の杉山先生の躍動感溢れる美しい指揮のもとで、開幕式典にふさわしく莊重

で輝かしい音楽が見事に演奏されました。その演奏は多くの聴衆に深い感銘を与えたこと思います。

さて、翌日の朝から2日間にわたって開催された音楽関係4部門発表会には器楽・管弦楽部門からオーケストラ4校、ギター・マンドリン合奏2校、弦楽合奏1校が参加いたしました。多数の吹奏楽部門の参加校に混じって、その演奏は一服の清涼剤ともいえるすがすがしい演奏でした。各校ともに弦楽器の艶やかで柔らかい音色を備えた立派な演奏で、大会を大いに盛り上げました。

次回の防府大会ではさらに練習に励み、研鑽を積んだ成果を十分に發揮されることを期待しています。



合唱部門

会場：スタービアくだまつ

理事長 三好五郎

(宇部中央高等学校教諭)

平成17年度第27回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、6月16日(木)「スタービアくだまつ」にて、盛大に開催されました。例年のように器楽・管弦楽部門と合唱部門と合同で慶祝演奏に参加しました。オーケストラとの大合唱（岩国、防府、山口中央、野田、中村女子、宇部中央、サビエル、萩、萩光塩、宇部の10校計176名）は、ホール一杯に美しく響き渡り、満員の聴衆の方々にも深い感銘を与えたことと思います。日頃は小人数で活動をしている学校が多いのですが、この日のオーケストラでの大合唱は、生徒達にとって、年に一度の貴重な感動的体験になりました。

また、音楽4部門の発表は、6月17日（金）、

18日（土）の2日間にわたり、高校生の熱気あふれる演奏が続きました。合唱部門の出演校は、6校（岩国、宇部中央、防府、防府西、野田、萩、）出演者は147名でした。各校よく工夫されたプログラムで、美しく柔らかい歌声が響き渡り、個性溢れる演奏でした。

問題点として、年々合唱部が廃部になり、参加校が減少しています。そのため地域や学校格差が広がっています。生徒数の減少や指導者不足が影響していると思いますが、もっと積極的に一人でも多くの合唱仲間を増やしていきましょう。来年度は“防府市公会堂”で開催されます。また次回もすばらしい演奏を期待します。

夢抱き 今こそ開け 文化の扉



吹奏楽部門

会場：スターピアくだまつ

理事長 藤本博途

(岩国商業高等学校教諭)

平成17年度第27回山口県高等学校総合文化祭総合開会式は、6月16日（木）スターピアくだまつで開催されました。吹奏楽部門として例年どおり開幕式典に周南地区高等学校合同吹奏楽団（光、光丘、熊毛北、下松、華陵、徳山、徳山商業、徳山工業、新南陽、聖光、各高等学校）を編成し、熊毛北高校の梅本純子先生の指揮で、ファンファーレ、高文連の歌で華やかに開幕しました。慶祝演奏では華陵高校の近間弘子先生の指揮でスプリングマーチ、童謡メドレーを力強く、美しく演奏しました。

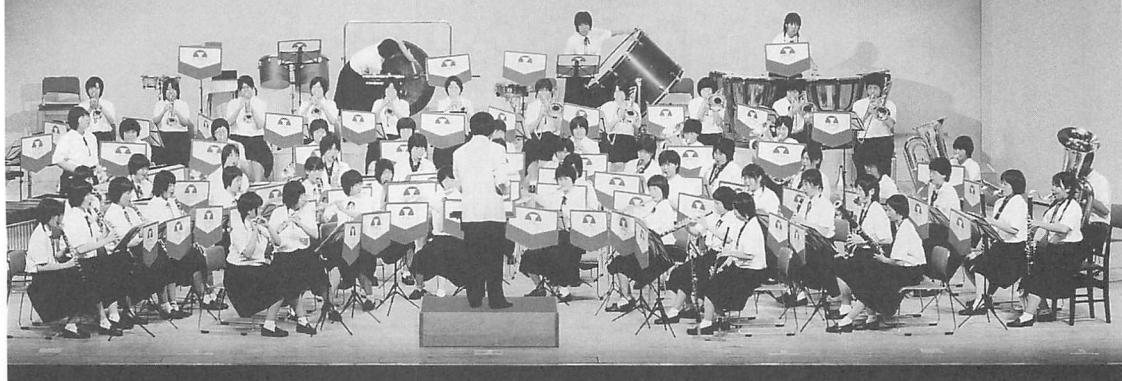
音楽4部門発表会は翌17日（金）と18日（土）の2日にわたり開催されました。吹奏楽部門には51校1,913名の生徒が参加し、すばらしい演

奏を披露してくれました。少子化が続いている部員が少なくなっている学校もありますが、演奏力は衰えておらず、各校ともすばらしい演奏でした。一日目の最後は防府西高校（藤元徹先生指揮）の伴奏で、二日目の最後は防府高校（矢田部一俊先生指揮）の伴奏で、『翼をください』を全員合唱し、感動の中で閉幕しました。主管校の下松高校を始めとして、周南地区の生徒補助員の動きや態度が例年以上に大変素晴らしい、高校生らしかったことが特筆されます。

平成18年度は防府市公会堂で開催されます。またすばらしい演奏が聴けることを期待しています。

第27回 山口県高等学校総合文化祭 総合開会式並びに音楽4部門発表会

夢抱き 今こそ開け 文化的扉



マーチングバンド・バトントワリング部門

会場：スターピアくだまつ

理事長 縄田道孝

(山口県鴻城高等学校教諭)

第27回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が6月16日（木）に、続く6月17日（金）と18日（土）に音楽4部門発表会が、いずれもスターピアくだまつを会場に盛大に開催されました。

総合開会式における慶祝演奏では、急遽、山口県鴻城高等学校吹奏楽部が行うことになりましたが、誠英・慶進両高校のバトントワリング部と合同で演奏・演技を披露しました。演奏曲目は、「パイレーツ オブ ザ カリビアン」で、慶祝演奏のオープニングにふさわしく、観客の通路も使った演奏・演技は華麗で大変迫力のあるもので、会場から拍手喝采を博しました。

音楽4部門発表会では、本部門はマーチング1校、バトントワリング2校の計85名が参加し

ました。バトントワリングでは、慶進高等学校の「Enjoy」と誠英高等学校の「TOXIC」で演技し、日頃の練習成果を発表しました。

調和のとれた一体感のある演技で、観客を魅了しました。マーチングでは山口県鴻城高等学校がカラーガードのショーで「Tank」ステージドリルで「GLADIATOR FINALE」を披露しました。カラーガードチームは全国大会にも出場し今後の活動に期待がもてます。

出演校も3校ですが、この部門が発展するよう各校とも日々練習を励んでいます。ステージ転換等大変ですが、主管校の下松高校をはじめ周南地区の先生方、生徒のみなさんによるスムーズな運営に心から感謝いたします。



日本音楽・吟詠部門

会場：下関市民会館

主管校 好川真知子
(下関南高等学校教諭)

抜けるような青空に恵まれた平成17年6月18日(土)、第27回山口県高等学校総合文化祭日本音楽・吟詠部門の発表大会は、下関市民会館で開催されました。リハーサル無しの本番を迎え、前日半日の準備だけでは音響効果に最大の不安を残すスタートでした。9時前から参加校の楽器搬入が始まり、ロビー・楽屋は興奮と熱気、緊張に包まれました。

10時の開会式後、午前の部の開演。本年度は20校21演目の参加があり、箏曲を主体にしたプログラムに、太鼓・合吟・能楽そして三味線が加わりバラエティ豊かなものとなりました。

演奏曲目も従来の『さくら』等の古典作品から『もののけ姫』といった映画音楽等の現代音楽へとおよび、また演奏スタイルもバイオリンやキーボード、尺八や篠笛との共演や合奏など各校それぞれに趣向を凝らした内容でした。恒例の合同演奏には、今年度はチェロ3台(下関南高管弦楽部員2名と教員1名)が加わり、チェロの深みと箏の音色が微妙に重なり、『叱られて』の曲想にぴったりの雰囲気でした。演奏者全員の真摯な思いが伝わる演奏となりました。

平家太鼓で始まった午後の部は次期主管校岩国高校の「じょんがら変奏」で終演、閉会式も予定通り4時終了。長くて短い一日が無事幕を閉じました。選曲から企画に至るまで、伝統音楽の枠にとどまらず、時代に受け入れられ現代に通用する音楽を目指す意気込みと意欲、楽しめる音楽へという姿勢が強く感じられる大会でした。若い世代の伝統音楽離れが危惧されるなか、今回の熱意と創意あふれるステージは伝統音楽への踏襲と回帰であると同時に、日本音楽の新たな可能性を模索して

いく姿であったという印象を強く抱きました。

その新たな可能性の追求の一つとして昨年から参加の聾学校生徒による太鼓演奏がありました。音楽への従来のアプローチとは異なる可能性が示されました。音を耳でとらえるのではなく、振動としてとらえ楽しむ姿とその真摯で敏捷な動きに私たちは圧倒されました。既成の概念にとらわれず自由に音楽を楽しみ表現しようとする姿勢が、音楽のみならず全ての芸術の根本なのだということを改めて知ることになりました。全ての聴衆やとりわけ参加生徒に大きな刺激となり感動を残しました。

しかし、ステージの熱演とは対照的に、客席は寂しい状況にありました。効果的PR活動ができなくてたくさんの人に足を運んでもらうことができませんでした。これも一因でしたが、参加生徒のほとんどが「聴く」よりも自分達の「演奏」に必死の様子でした。今後の課題となります。

本大会の運営と開催に当たり、山口県高等学校文化連盟の方はもとより、多くの関係の皆様方より、様々なアドバイスと励まし、御協力と御支援をいただき有り難うございました。



展示 3 部門

美術・工芸、書道、写真部門

会場：アスピラート [防府市地域交流センター]

主管校 中邑立夫
(防府高等学校教諭)

「夢抱き 今こそ開け 文化の扉」のテーマのもと、平成17年度県高総文祭展示部門大会は、10月27日（木）～29日（土）の3日間好天に恵まれ開催されました。

会場アスピラートは、場所と設備については良いところだったのですが、理想の会期として、11月中旬の日曜日を含む3日間だったのですが、10月末の実施になり下記の表のように決まりました。

<日程>

10月26日（水）	10月27日（木）	10月29日（土）
9:00～会場設営	28日（金）	9:00 開館
15:30～審査会	9:00～開館	13:00～表彰式
17:00～閉館	17:00～閉館	13:30～講評会
		16:00展示終了
		作品返却開始

<作品応募について>

10月3日が締切日で、応募校53校、応募点数はそれぞれ、美術・工芸150点、書道86点、写真55点でした。

<準備段階>

萩地区大会の前に、引受けを承諾して平成8年展示部門大会（防府高校主管校）の経験をもとに、会場予約、校内運営の役割分担等をあらかじめ計画をしました。地域の協力体制をいかに作るかが課題となりました。

また、地域の高校以外にも観ていただくように防府市と防府市教育委員会に後援依頼をお願いしましたが会期中日曜日を含んでいないこと、山口県中学校文化連盟の発会式が、11月の中旬と重なった事等で、計画は期待通りには行きませんでした。

<設営段階>

10月26日（水）防府地区の高校美術部、書道部、写真部の生徒諸君と顧問の先生、そして主管校である防府高校の先生方にも授業の合間をみて設営と設営の準備をして頂きました。多数の人数で取りかかるので、女子生徒用に作業着と着替える更衣室、全員が食事できる部屋が必要

要でした。一応開会までこぎ着けることができました。みんな一生懸命にやって頂き感謝しております。

問題点としては、事務局本部を学校から本部控室に移動のとき、余裕の時間と専任の役員が少なすぎると感じ、今後の課題だと思います。
<会期中>

来場者数は次のようになりました。

	27日（木）	28日（金）	29日（土）
1F市民スペース	141人	62人	464人
2F展示室	153人	61人	405人
(会場受付調べより)			

29日は表彰式講評会等がありましたので来場者はまずまずであったと思います。27・28日は授業を利用しての鑑賞の時間を設けたのですが、少人数でした。オープニングセレモニーは、今回省略というかたちになりましたが、報道機関を通じて宣伝を行うには最初のセレモニーとして必要なかも知れません。

<表彰式、講評会>

29日午後アスピラート内リハーサル室で表彰式が厳かに行われました。音楽は防府高校の矢田部先生の協力で生徒によるフルートの演奏を背景に、主催者、来賓、主管校校長、生徒会長の挨拶や紹介があった後、中島高文連会長より第30回全国高等学校総合文化祭出品候補者に、表彰状が授与されました。京都大会の参加と成果を期待したいと思います。

表彰式の後、部門別に講評会を開きましたが、美術・工芸部門では作品をとりまくスペースがとれなくて、後ろになった生徒に声がとどきにくかった、マイクを使ったらいいのではとの意見も来場者から聞かれました。今後工夫する必要があるのかも知れません。

<おわりに>とにかく終わりました。問題を抱えながら、私を支えてくださったみなさまに感謝の気持ちを抱きつつ、来年度も良い大会になりますよう祈念いたします。



美術・工芸部門

総出品点数150点中、平面140点、立体10点という構成であった。点数の違いはあれ、それぞれの分野でレベルの高い作品が多く見られたことは、うれしいかぎりである。会場のアスピラートは、しっかりとした設備もあり展示スペースとしては、大変良いものであった。唯今年は例年になく出品点数が多く、一部二段掛けになったのが惜しまれる。さて、全国大会の事を考えると、平成18年の京都大会より出品規定が変更となる。それに合わせ本県でも、今大会よりこれまでの絵画、デザイン・彫刻、工芸という枠組みから平面と立体という枠組みに変更した。本県の実状を見ると平面においては、質においても量においても充実したものを感じるが、立体においては、質の高い作品もあるのだが、何といっても量が少ない。立体への取り組みを真剣に考えていかなければとつくづく感じるところである。

(理事長：古賀)

書道部門

書道部門には、県内28校より87点が出品され、厳正な審査により来年の全総文京都大会への出品候補作品4点を含む優秀賞9点が選ばされました。会場の「アスピラート」の広い展示ホールは所狭しと展示された高校生の作品から発する若いエネルギーに満ち満ちていました。

最終日に行われた講評会は、県下各地から多くの出品生徒の参加を得、緊張の中にも和やかな雰囲気の中で進められました。一点につき二名の先生から講評をいただき、参加生徒は明日の部活動への意欲を感じてくれたものと思います。青森での全国展、この県展を鑑賞してのこ

れからの課題は、作品構成と落款の収め方です。古典を手本とし、同じようにまじめに臨書していても、文字の布置の仕方や落款の入れ方で随分印象が変わります。一つの作品として完成させるまでのプロセスの中で、より立体的で変化と統一の感じられる作品構成を作りあげていく過程を大切にしたいものです。(理事長：有富)

写真部門

今年度の写真部門は、11校より合計55点の出品があり、前日の26日（水）に、審査委員長である二科会会友・堀田俊秀さんにより、優秀作品6点を選出する審査を行いました。

優秀作品6点の選出の後、1・2年生の作品から全国高等学校総合文化祭・京都大会の出展候補作品5点を選抜しました。詳細は、本冊子の優秀作品一覧をご覧下さい。

開催にあたり、主管校である防府高等学校中邑立夫先生、末永明洋先生をはじめ、会場の設営などにご協力頂いた山防地区の先生方、ならびに補助員の生徒の皆さんに感謝と御礼を申し上げます。

最終日の29日（土）の午前中には、防府天満宮周辺にて、毎年恒例の写真部会主催撮影研修会を実施しました。今年も、写真撮影の技術向上に役立つ有意義な研修会となりました。コンテスト形式で行い、上位には以下の生徒の作品が優秀賞を受けました。（6位まで）

最優秀賞	下松工業高校	3年	山根 佳孝
2位	西京高校	2年	金池 美雪
3位	下関西高校	2年	福田 浩子
4位	西京高校	2年	窪田真里奈
5位	宇部工業高校	2年	早稲田 茂
6位	防府高校	2年	藤村 友紀

限られた時間と場所での撮影でしたが、なかなかの力作揃いででした。天満宮という場所設定、カラー・サービスサイズでの作品で行ったコンテストでしたが、あらかじめイメージを作って撮影に入った作品は、完成度も高く見事でした。

この研修会で学んだことを、各高校の日々の部活動に役立てていって欲しいと思います。

部活動の統廃合が進み、部の存続が困難になりつつある高校が増加しておりますが、写真部の活動が継続している高校では、今後も活動の継続・活性化にご尽力下さい。（理事長 佃）

第27回 県高総文祭展示部門出品校一覧表

	学校名	美術・工芸	書道	写真		学校名	美術・工芸	書道	写真
1	安下庄	1			29	豊浦	4		
2	岩国	5	4		30	長府	5	1	
3	岩国総合		4		31	下関西	3	4	6
4	岩国商業	3			32	下関南	5	4	
5	岩国工業	3			33	下関中等教育	5	4	
6	柳井	4			34	下関中央工業	3		
7	光	1			35	豊北		4	
8	光丘	5			36	大津	2		1
9	熊毛北			1	37	萩	1		
10	下松		4		38	萩商業	3	3	
11	下松工業			2	39	萩工業	1		
12	徳山	2	4		40	奈古	5		
13	鹿野		1		41	聲	2		
14	新南陽		4		42	防府養護	5	2	
15	防府	5	4	6	43	山口養護	3		
16	防府西	5	1		44	萩養護	1		
17	防府商業	5	1	1	45	下関商業	5	4	
18	山口	5	4	10	46	高水	5	4	
19	山口中央	5	4		47	県桜ヶ丘		1	
20	西京	5		10	48	誠英	5		
21	宇部	4			49	多々良学園		1	
22	宇部中央	3	3		50	中村女子		4	
23	宇部西	5	2	3	51	野田学園		4	
24	宇部商業	5			52	慶進	5		
25	宇部工業		2	10	53	萩光塩学院	2	4	
26	小野田工業			5					
27	美祢	5			共同作品等		3	1	
28	大嶺	4			合計		153	87	55

第27回 県高総文祭展示部門・優秀作品一覧（全高総文祭候補作品）

美術・工芸部門

高等学校名	学年	氏 名	作 品 名	全総文候補作品
岩国高等学校	2	田中直子	ほうさく稻次郎	○
山口高等学校	2	清水麻紀子	万提灯夜半	○
宇部高等学校	2	高濱真鈴	深海魚	○
豊浦高等学校	2	坂之上正久	金欲	○
県立聾学校	1	森廣 隆	不思議な手	○
下関商業高等学校	2	鹿内由季菜	a once in a lifetime chance	○
岩国高等学校	2	桂典子	皿の上まで1時間	
柳井高等学校	2	三島恵美	熱狂	
光丘高等学校	3	松田明子	海と友	
宇部高等学校	2	鈴木万里子	ガラスの夏	
美祢高等学校	2	阿部美沙恵	登竜門	
豊浦高等学校	2	河村理芳	港	
高水高等学校	1	豊原裕子	日本美	
誠英高等学校	2	西山陽子	煙	
誠英高等学校	1	福田美緒	手	

書道部門

高等学校名	学年	氏 名	作 品 名	全総文候補作品
防府高等学校	2	岡田典子	臨 李嶠雜詠	○
高水高等学校	2	山本菜穂子	臨 鄭羲下碑	○
多々良学園高等学校	2	有富遼介	臨 孫秋生造像記	○
中村女子高等学校	2	藤田麻依子	臨 争坐位稿	○
岩国総合高等学校	3	藤山朝子	名月や（俳句6句）	
宇部中央高等学校	1	松田優花	臨 張猛龍碑	
宇部西高等学校	2	村中智奈	臨 矢人盤（散氏盤）	
下関西高等学校	1	浜上祐介	臨 九成宮醴泉銘	
豊北高等学校	2	梅月美央	雲	

写真部門

高等学校名	学年	氏 名	作 品 名	全総文候補作品
下松工業高等学校	2	大嶋龍	岩礁の鵜	○
山口高等学校	1	森永真由美	斜陽	○
西京高等学校	2	松本紗央里	勝利を祈って	○
宇部工業高等学校	2	倉本祐貴	列車内	○
小野田工業高等学校	1	藤井祐弥	おれの宝物	○
山口高等学校	3	吉崎七海	京への入口	

※第30回全国高総文祭（京都大会）候補作品は、上記の美術・工芸6点、書道4点、写真5点

囲碁部門

会場：宇部高等学校

理事長 松田伸雄
(宇部高等学校教諭)

第27回山口県高校総合文化祭囲碁部門・第17回大会兼第30回全国高等学校文化連盟囲碁部門第19回大会県予選会は10月23日（日）、山口県立宇部高等学校で開催されました。

13校・65名の高校生棋士の参加を得て、静かな雰囲気のなか、気品ある闘志をみなぎらせ、日頃培った棋力を互いにぶつけていました。棋力の近い者、勝った者どうしが対局するような組み合わせで4回対戦します。対局時以外は高校生どうし、対戦を振り返り、感想戦で教えたり教えられたりしていました。囲碁だけでなく、勉強や他の部活の話題などにも及び仲間の環も広がったようです。対局時とうって変わってなごやかな雰囲気でした。

認定戦も兼ねており、参加者全員に段級位の認定状が授与されるのもこの大会の魅力ではないかと思います。

大会の成績は次の通りです。

<団体戦>男子 優勝 下関西高等学校
準優勝 萩高等学校
女子 優勝 宇部高等学校

男・女とも優勝校は12月25日～26日に岡山県倉敷市芸文館で行われた中国大会に県代表として出場し、ともに3位に入賞しました。

この大会は18年度全国高校総文祭の代表も選出することになっています。8月5日（土）～6日（日）に京都で開催されます。京都大会には男・女個人戦に1名ずつと、団体戦に男女3名の混成チームが出場します。昨年の青森大会では女子個人戦で防府高校の横田さんが5位入賞で表彰されました。先の中国大会で男子個人戦3位、女子個人戦2位と上位入賞した選手は、勿論全国大会に出場します。全国大会での好成績が期待されます。

代表決定戦の成績は以下の通りです。

<個人戦代表決定戦>

男子 優勝 木村 悠 徳山高等学校
女子 優勝 横田仁美 防府高等学校

<団体県チーム代表決定戦>

男子 優勝 伊藤大地 徳山工業高等学校
優勝 安藤裕介 下関西高等学校
女子 優勝 本郷香織 宇部高等学校



演劇部門

会場：宇部市渡邊翁記念会館

理事長 村岡圭吾

(山口県鴻城高等学校教諭)



10月29日（土）・30日（日）に宇部市渡邊翁記念会館で県総合文化祭演劇部門・県大会が開催されました。会場は文化財ということで、制約も多く、使いづらい部分はありました。照明・舞台スタッフや地区の先生方の協力もあり、不自由なく大会を運営できたと思います。例年通りのコンクール形式で行われ中国大会への出場を争う熱気に包まれた舞台が展開されました。参加校数が9校となったおかげで、関係者と保護者の数が増えて観客数が伸びたように思います。

舞台は昨年の審査員講評で篠崎先生が舞台大道具の稚拙さを指摘されたことを受けて、どの上演校もいつも以上に大道具が良くできていたように思います。また、照明の使い方なども、各校研究されていて、美しい舞台が繰り広げられました。下関第一高校の紗幕の使い方は特に好評でした。上演作品も創作や既成の様々な内容で、見ている観客と一体感を感じる涙あり、笑いありの作品が多くかったです。最優秀賞は宇部高校と華陵高校に決まりました。

今大会でも専門部の生徒活動を発展させるため生徒講評委員会をもうけました。個人賞は山口高校の宇部役の村田君。団体賞は宇部高校でした。後に開催された中国大会では生徒審査委員賞を全ての出場校に与えていて、それぞれ各校に対して感想を伝える場面があったので、今後はその方式も参考にして、予算や人員が確保できる限り、生徒講評員会を続けていきたいと考えています。

大会運営には宇部地区の生徒を中心に多くの高校生や顧問がたずさわってくれました。準備等いろいろと大変だったと思います。ありがとうございました。

2006年には山口で国民文化祭が開催されます。それに伴い、演劇部門も県総合開会式で新たな試みを企画しています。演劇は上演するまでの多くの試行錯誤や葛藤、衝突があり一朝一夕でできるものではありません。だからこそ、大切な部活動であると信じています。どうか、各校とも工夫されて文化部の衰退、廃止が為されないよう、ご尽力よろしくお願いします。

第27回山口県高等学校総合文化祭演劇部門

第24回山口県高等学校演劇大会

上演一覧・作品名

学 校 名	作 品 名	作 者 名
宇部中央	アナリストゥスの宝箱	Misaki 作
華陵	また明日。	迦陵頼伽 作
山口県鴻城	B e …	渚 太陽 作
下関商業	道標	中司貴之 作
岩国	桜井家の掟	阿部 順 作
山 口	Drug Artist	中井哲郎 作
下関第一	笛男	亀尾佳宏 作
岩国総合	ばばあ	Mommy 作
宇 部	見えっぽり家族	高場光春 作

<講師・審査員>

篠崎光正（桐朋学園大学短期大学教授）

山口武信（劇作家）／中谷裕子（中村女子高等学校）

放送部門

会場：ニューメディアプラザ山口

理事長 吉川佳子
(山口高等学校教諭)

11月5日、山口高等学校主管のもと、ニューメディアプラザ山口で第12回放送部大会が開かれました。

アナウンス部門22人、朗読部門31人、オーディオピクチャー部門5作品、ビデオメッセージ部門4作品、参加校14校が来年京都で開催される全国大会をかけて熱い火花を散らしました。テーマは昨年と同様「郷土」に関するものです。ここ数年続いているせいか、同じようなものにならないように目新しい原稿を用意しようとした心意気がみられる発表もありました。朗読は山口県ゆかりの文学作品ですが、選択の幅がなく、毎回苦慮するところです。山口県出身の詩人は中原中也や金子みすゞがいますが、詩の朗読は難しいためかいまだかつて挑戦した生徒はないように思います。散文の文学作品となると本当に少ないものです。

審査はアナウンス部門と朗読部門はKRYの中谷隆宏アナウンサーに、番組部門は久保和成制作部次長にお願いしました。

昨年と同様一人一人に講評をいただきました。アナウンス・朗読ではつくった声ではなく自分の一番いい声を自然な発声で、というアドバイスがありました。

それから上から下へと自然に読み下すということ、助詞をのばさない等いずれも「伝わりやすさ」という点では重要なことです。

来年度の全国総文祭京都大会に推薦された生徒・作品は次のとおりです。

◎アナウンス部門／

最優秀賞	徳山高等学校	藤本美智子
優秀賞	山口高等学校	池畠美樹子
	熊毛南高等学校	郷野 寛乃

◎朗読部門／

最優秀賞	熊毛南高等学校	増岡 千晴
優秀賞	山口高等学校	浅谷 結花
	徳山高等学校	田中亜矢巳

◎ビデオメッセージ部門／

最優秀校 徳山高等学校 「御神籤」

◎オーディオピクチャー部門／

最優秀校 山口高等学校

「ちょっと一言よろしいかしら？」



将棋部門

会場：防府市文化福祉会館

理事長 岡 茂樹
(防府高等学校教諭)

第27回山口県高等学校総合文化祭将棋部門大会は、全国高等学校総合文化祭将棋部門大会兼第41回全国高等学校将棋選手権大会の県予選を兼ねて、5月28日(土)・29日(日)の2日間開催されました。開会式には山口県高文連会長の中島俊泰先生、山口県教育委員会指導課の西村和彦先生、事務局の角中悦太郎先生をお迎えしました。初日に団体戦、翌日個人戦の2日間開催も3年目になり、参加生徒も増え、延べ130人以上のたいへん盛り上がった大会になりました。

団体戦には16チームが参加し、4チームごとに総当たりのリーグ戦を行いました。各組1位が決勝リーグに進出しさらに総当たり戦を戦います。決勝リーグに残ったのは防府高校A、宇部高校C、多々良学園高校A、宇部高校Aの4チームでした。大接戦の末、宇部高校Aが多々良学園高校Aを振り切り男子団体戦8連覇の偉業を成し遂げました。

男子個人戦は76人のトーナメント戦を行いました。3回戦までは20分切れ負け制、4回戦から30秒の秒読みがつきます。決勝戦は藤里君と中谷君の岩国高校どうしの対戦になりました。

将棋部がない状況の中、2人はお互に腕を磨いていたようです。先輩の藤里君が貫禄の優勝を飾りました。敗者は敢闘賞を目指す親睦リーグ戦や指導対局を行いました。

女子個人戦は5人のリーグ戦で行いました。宇部高校と防府高校のみの参加で、女子への普及が課題として残り

ました。長本さん(宇部)が昨年度優勝の高橋さんを倒し、初優勝しました。

＜団体戦＞ 16チーム

第1位…宇部高校A

(石田敦士・名和田隆司・河野 健)

第2位…多々良学園高校A

(國光一紀・池田隆志・内田義弘)

第3位…防府高校A

(久光龍太郎・武石啓成・山本遼司)

＜男子個人戦＞ 76人

第1位…藤里 尚樹(岩国高校)

第2位…中谷隆太郎(岩国高校)

第3位…山本真一郎(宇部高校)

第3位…梅山 大樹(下松高校)

敢闘賞…小野 純平(徳山高校)

松本 幸士(防府西高校)

＜女子個人戦＞ 5人

第1位…長本 尚子(宇部高校)

第2位…高橋 美妃(宇部高校)

第3位…横田 仁美(防府高校)

団体戦と男女個人戦の優勝者、女子個人戦の準優勝者は青森県三沢市で開催された全国高等学校総合文化祭への出場権を獲得しました。



文芸部門

会場：スターピアくだまつ

理事長 森山和子
(高森高等学校教諭)

今年度の文芸大会は、10月23日（日）にスターピアくだまつを会場として開催しました。

大会に先立って、第3回文芸コンクールを行い、多数の応募作品の中から多くの支持を得た次の作品が入賞しました。

最優秀賞…横田 仁美（防府高校2年）

「イトウくんの腐乱死体」

優秀賞…藤井 唯（下松高校2年）

「羽のある少年」

中嶋加奈子（防府高校3年）

「魔法のはじまり」

藤原佳絵（山口高校1年）

「立ち入り禁止区域」

入選…玉木 麻衣（柳井商業高校2年）

西山 知里（下関南高校3年）

丸山 由衣（下松高校3年）

幸坂 靖子（萩高校2年）

江戸川 帝（徳山工業高校3年）

石橋 彩加（萩高校3年）

坂本実可子（柳井商業高校2年）

竹中 梢（山口中央高校2年）

三浦美沙子（萩高校1年）

富元 佑里（萩高校2年）

波多野遼子（萩高校3年）

中村 京（山口高校2年）

河野 友香（下関南高校2年）

植中 悠（柳井商業高校1年）

学校奨励賞 西京高等学校

徳山工業高等学校

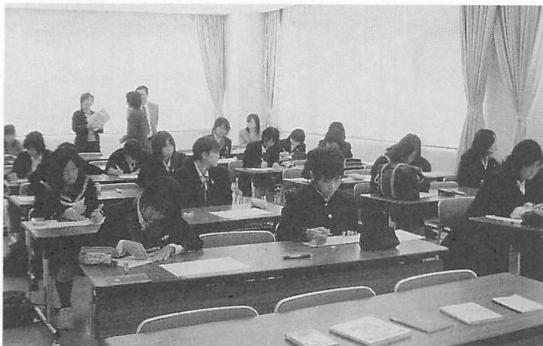
大会当日は、14校83名の参加がありました。

午前中は小説、詩、短歌・俳句の三分科会に分かれて、リレー小説や詩のボクシングに挑戦しました。短い時間でしたが、参加者の積極的な創作活動のおかげで充実した時を過ごせたように思います。

午後は梅光学院大学教授の北川 透先生を講師に迎え、「私の創作活動」という題で講演していただきました。

文芸部門も発足して3年目を迎え、少しづつ活動が定着してきたようです。これからが充実期であり、今後もより多くの高校生に参加して貰えるような文芸部活動を目指していきます。

来年度は国民文化祭が開催され、その翌年には、文芸道場中国ブロック大会を引き受けます。運営面での力量を養うこととも、今後の課題として取り組んでいきたいと考えています。



第29回全国高等学校総合文化祭の記録

青春の夢 青い森かけめぐり 文化の虹ときらめいて 全高総文祭(青森大会)参加校一覧

部 門	高等 学 校	参 加 生 徒 数	備 考 (演奏曲目・作品等)
パ レ ー ド	誠 英 慶 進	(14) (10)	(2校合同出演) バトントワリングにも出演
演 劇	県 立 華 陵	20	「報道センター 1 2 3」迦陵頻伽 作
合 唱		0	
吹 奏 楽	県 立 岩 国 商 業	71	演目 「オペラ座の怪人メドレー」・「ハリソンの夢」
器 楽 管 弦 楽		0	
日 本 音 楽	県 立 下 関 南	10	演目 「箏と十七弦による二重奏曲」
マーチングバンド		0	
バトントワリング	誠 英	14	演目 「幻想の中で」 海・砂漠・そして…
	慶 進	10	
美 術・工芸	県 立 岩 国	1	絵画「憧れ」善岡美奈水 (3)
	県 立 岩 国 総 合	1	絵画「思い出の港」坂本美沙紀 (3)
	下 関 商 業	1	絵画「Why」野村貴之 (3)
	県 立 山 口	1	彫刻・立体「僕ラノ可能性」岡田千秋 (3)
	県 立 宇 部 商 業	1	デザイン「自己と他界」松村実紀 (3)
書 道	県 立 下 関 第 一	1	漢字「臨 魏靈藏造像記」安野 豊 (3)
	県 立 下 関 西	1	漢字「臨 泰山刻石」迫野加奈枝 (3)
	県 立 防 府	1	漢字「臨 伊都内親王願文」中村冴紀子 (3)
	県 立 宇 部 中 央	1	漢字「臨 赤壁賦」茨木恵理 (3)
写 真	県 立 宇 部 工 業	2	単写真『仲間』中尾将太 (3) 単写真『ぼくらの皆』倉本祐貴 (2)
	県 立 下 松 工 業	1	単写真『波紋』山根佳孝 (3)
	県 立 山 口	1	単写真『visibility—秋野の1コマー』作間寛子 (2)
	高 水	1	組写真『はちきれる 青春』河郷 裕 (2)
放 送	県 立 岩 国	3	アナウンス 伊村友希 (3) 村重舞花 (3) 朗読 奥本直子 (3)
	県 立 山 口	2	アナウンス 池畠美樹子 (2) 朗読 金子 愛 (3)
	県 立 下 松	1	朗読 景山真衣 (3)
	県 立 山 口 中 央	1	オーディオピクチャー「燈幻郷」
	県 立 岩 国 総 合	1	ビデオメッセージ「不思議城下町…野の花小路・野の花小町・灯りの小路」
囲碁	県 立 徳 山 工 業	1	個人戦(男子) 伊藤大地 (2)
	県 立 防 府	2	団体戦(男女混合) 山本裕徳 (3) 個人戦(女子) 横田仁美 (2)
	県 立 徳 山	1	団体戦(男女混合) 西村泰利 (2)
	県 立 防 府 商 業	1	団体戦(男女混合) 河野舞子 (3)
将 棋	県 立 宇 部	5	団体戦(男子) 石田敦士 (3) 名和田隆司 (3) 河野 健 (3) 個人戦(女子) 長本尚子 (2) 高橋美妃 (3)
	県 立 岩 国	1	個人戦(男子) 藤里尚樹 (3)
文 芸	県 立 山 口 中 央	2	散文 中原有紀 (3) 文芸部誌 廣岡あゆみ (3)
	県 立 長 府	1	短歌 下田裕子 (3)
	県 立 下 松	1	詩 境 茉有子 (2)
総 合 開 会 式	県 立 宇 部 工 業	(1)	中尾将太 (3)
合 計			参加生徒数 162名



▲式典



◀▲フィナーレ



市街パレード▶



吹奏楽部門

会場：青森市文化会館

顧問 藤本博途

(岩国商業高等学校吹奏楽部)

7月27日（水）岩国商業高校吹奏楽部総勢70名が広島空港を飛び立ちました。羽田空港で乗り換えるとき、「台風の影響で途中で引き返すかもしれません。」というアナウンスが流れ、いやな予感もしましたが、結果的には大変楽しい演奏旅行になりました。翌日わかったことです、この日羽田からの青森便のうち、通常運行できたのはこの私たちが乗った飛行機だけで、あとはすべて羽田まで折り返したか、運行中止になったようです。

生徒より一足早くタクシーで会場に駆け付け、代表者会議に出席しました。説明される先生が「津軽弁で話してもいいですか？」と標準語で言われたあとはすべて津軽弁でした。正直、七割は何を言っておられるのかわからなかったのですが、非常になごやかな雰囲気の会議で楽しめました。

翌日、いよいよ本番です。会場は5階建ての

素晴らしいホールで、青森県や青森市の文化行政のレベルの高さを感じました。コンクール全国大会で名前を聞く学校もあり、生徒も緊張しています。マーチング・バトントワリング部門の視察に来られていた山口県鴻城高校の縄田道孝先生が応援に駆け付けてくださり、心強く思いました。演奏は本校としては大変良くできたと思います。満員の会場から温かい拍手をいただき、生徒も満足そうでした。

私たちが宿泊しているホテルのすぐ近くでマーチング・バトントワリングのパレードを見学できたり、レベルの高い他校の演奏を鑑賞できたり、非常に有意義で楽しい旅行でした。生徒の思い出の中にこの青森大会は生き続けるでしょう。

最後に、参加にあたり大変御世話になりました山口県高等学校文化連盟事務局に厚く御礼申し上げます。



▲岩国商業高等学校

マーチングバンド・バトントワリング部門

会場：青森県武道館

『歴史を伝えたい』

慶進高等学校 2年 岩本 結花

七月下旬、夏の朝の光を受けて私たちは大きな期待と、ほんの少しの不安を抱えてバスに乗り、長い長い本州を縦断し、青森の地に降り立ちました。青森の空気はまだ少し肌寒く、私たちに心地よい緊張感を与えてくれました。

青空の下、華々しくパレードは始まりました。私たち山口県代表は32番。順番が近づくにつれ、不安と緊張が押し寄せてきました。しかし本番が始まると、沿道に集まって下さった方々のあたたかい笑顔や声援に迎えられ、さっきまでの緊張はどこへやら、自然に軽やかなステップと笑顔で私たちらしく堂々とした演技ができました。

翌日、会場となった「青森県武道館」のフロアは、全国から集まった仲間たちの情熱や期待で輝いていました。私たちの演技は「義経」で

初めて挑戦する曲調でしたが、歴史と深い関わりのある地、山口県の代表として山口県を表現するには、一番適したものです。

フロアを前に今まで毎日厳しい練習に耐え、何度も壁にぶつかって、その度に仲間と共に乗り越えてきたことが思い出されました。そして、自分たちにできる精一杯の演技がしたい。山口県の代表としてみんなの心に残る演技がしたい。私たちの心は一つでした。一つ一つのステップに熱い思いを込め、山口県の…日本の歴史の美しさ、そしてこれから創り上げていく未来に対する私たちの姿勢を知ってもらうために。会場が壊れそうなほどの拍手に包まれた瞬間、私たちの長く、情熱的な夏は幕を下ろしたのでした。

最後になりましたが、今までご指導いただいた先生方、文化祭開催に全力を尽くしてくださいました地元青森県の皆様、協力してくださった保護者の皆様に感謝を申し上げます。私たちはこ

の経験を胸に刻み、より一層努力して気持ちの伝わるような演技を目指します。



日本音楽部門

会場：黒石市民文化会館

『肌で感じた全国のレベル』

下関南高等学校箏曲部部長

2年 植村 恵子

私たち、下関南高校の箏曲部は山口県代表として、「全国高等学校総合文化祭」の「日本音楽部門」に出場しました。7月27日の朝、下関を出発。博多から飛行機で伊丹空港、秋田空港まで行った後、バスで青森へ移動しました。

青森の黒石市についた後、旅館で箏を受取り、受取った箏を持ってリハーサルのために会場に向かいました。一週間ほど前に使っていた箏を青森へ送っていたので上手く弾けるかどうか心配でした。会場で調弦室に入ってもまだ、これからステージに立つという実感はあまりわきませんでした。ステージの袖で待機しはじめてからやっと緊張してきました。私たちの前の学校の演奏は人数も多く迫力があり圧倒されました。とても上手で、自信を失いました。きっと、他のみんなもそうだったと思います。幕が上がり、会場を見るとほとんど人がいませんでした。しかし、リハーサルであるにもかかわらず、緊張で手が上手く動きません。これでいいのだろうか、という手探りの状態で、不安と焦りで頭が真っ白でした。このリハーサルで、練習不足とステージで演奏するという経験の無さを実感しました。

翌日の28日、開会式に出たあと、午後から旅館で練習をしました。リハーサルで上手く行かなかった部分の練習や、押し手の練習をしましたが、なかなか上手くいきません。本番で上手く弾けるかどうかとても不安でしたが、みんなで気持ちを一つにして弾こうと思いました。



本番の29日がきました。調弦室にいる間は、今までやってきたことと注意していたことをひとつひとつ頭の中で確認していました。舞台袖へ行くと、前の学校の演奏が始まりました。その演奏が、リハーサルのときよりもずっと上手に聞こえます。しかし、私は自分の演奏のことを考えていました。ただ、失敗しないことだけを考えていました。精一杯、全力で弾こうと思いました。いよいよ私たちの出番になり、幕が上がりました。演奏が始まると、リハーサルで演奏した時より、もっと手が動かないのを感じました。わけもわからないまま、ただひたすら箏に向かい、弾きました。

午後から他校の演奏を聞きました。どの高校も一つ一つの音が綺麗で、強弱のつけ方が上手でした。色々な技が取り入れられていて、私たちには出来ないような難しくて速い曲も演奏していました。全国のレベルの高さを肌で感じ、ここで感じたことを上手く活かせるように、少しでも多くのものを吸収しようと思いました。

その後、交流会がありました。何をするのだろうと思っていたら、審査員の方々の模範演奏や、青森の文化、ねぶた祭りの紹介などでした。帰りの飛行機の中では、先輩の引退による寂しさでいっぱいでした。さまざまなことを学ぶことができ、内容の濃い素晴らしい経験ができた4日間でした。

美術・工芸部門

会場：八戸市体育館

理事長 古賀 隆光
(宇部高等学校教諭)



今回、全国総文祭青森大会に参加した5名のみなさんから、感想をいただいています。全国の作品が集う中、それらの作品群を前にし、動かされた心の模様を伝えます。

出品作品『憧れ』絵画

岩国高校 3年 善岡美奈水

これほどたくさんの高校生の作品を一度に見たのは初めてでした。どの作品もレベルが高く、自分の作品の小ささを改めて思い知らされました。会場の中でも特に目を引いたのが立体作品で、今まで手をつけたことのない分野だけに新鮮な気持ちで見ることができました。とても良い経験になったと思います。ありがとうございました。



出品作品『思い出の港』絵画

岩国総合高校3年 坂本美沙紀

台風と共に向かった青森は、故郷の山口の夏とは違いカラっとした気候で空気がおいしかった。全國の同志達やその作品をこの目で見て、将来への緊張感を持つと同時に強いやる気が溢れてきたのを覚えている。交流会で知り合った友達は私にとって特別な存在となった。個性的なアーティストになりたいという思い、そして芸術に対する憧れがさらに増したと思う。



出品作品『僕ラノ可能性』彫刻

山口高校 3年 岡田千秋

実際に展示会場で作品を観ると、



非常に迫力があり、エネルギーに満ち溢れたものばかりであった。一つ一つが鑑賞してもし足りないくらいに充実していた。この度の青森大会での体験は、私にとって一つの新しい世界が拓けたようで、感激の連続だった。今回のこの思い出を大切にし、これからまた新鮮な気持ちで精進していきたいと思う。

出品作品『why』絵画

下関商業高校 3年 野村貴之

自分自身の未熟さに、数々の作品を見て思い知らされた。落ち込んだり、悲しんだりするよりも、胸躍るような気分で自分ももっと高レベル、また自分らしさを表現しなければと思う。同じサイズのキャンバスに描いても、絵によって大きさは全然異なって見えた。僕の絵はと言うと、こじんまりと小さくまとまっている。いつか広がりを持つ絵を必ず描こうと、今回思うことが出来た。



出品作品『自己と他界』デザイン

宇部商業高校 3年 松村実紀

本州の南の端から北の端へ大移動しました。その時の新幹線の連結の仕方が衝撃的でした。



大会では多くの人の作品にふれる事ができ、自分にはない考え、思い、技術などを感じる事ができました。同時に自分には本当に自分だけの“何か”があるのだろうかととても考えました。最後に交流会では、他県の人と会話でき作品の事など聞けてとても心に残る大会でした。

書道部門

会場：ユートリー

防府高等学校 中村冴紀子
県の代表として全国高総文祭に参加できることは私にとって貴重な財産となりました。

全国から集まった作品はどれも堂々としたものばかりで、それらをじっくり鑑賞する中で様々な書風・表現に出逢うことができました。同じ高校生として感心するような優れた作品も多くあり、本当によい刺激となつたと思います。

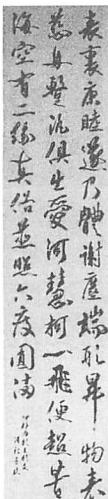
交流活動を通じて友達の輪も県内外に広がり、とても充実した文化祭を経験できました。私たちを温かく迎えて下さった青森の方々に心から感謝しています。

この大会で吸収できたものを今後の自分の書道にしっかりと生かしていきたいと思っています。

宇部中央高等学校 茨木恵理
青森の全国総合文化祭に参加し、たくさんの貴重な経験をすることができました。

今回の作品は、これまで臨書したことのないおとなしい書でしたから、選抜されたときは本当に驚きました。全国から展示されている力作のスケールの大きさに感動し、書いた人の気持ちが伝わってきました。と同時にもう少し練習を重ねて書けばよかったと反省しています。

交流会では、県外の人達に出会うことができ、お互いに作品を交換したり、印を刻したりしてとても楽しい時間を過ごすことができました。この経験を大切にしてこれからも書道を頑張りたいと思います。



下関西高等学校 迫野加奈枝
私にとってこの全国総合文化祭に参加できたということはとても意味のあることだったと思います。

会場に飾られた作品は、私が今までに見たことのないような大きさのもの多く、これを私と同じ高校生が書いたのかと、強い衝撃を受けると同時に、感動しました。

また、書にはこんなにも多くの表現があるのかと、自分の未熟さを感じました。

また、各班に分かれての交流会もこの全総文の魅力だと思います。全国の書道をしている人達と知り合い、作品を交換し合つたことは、とてもよい経験となりました。



下関第一高等学校 安野 豊

私自身、2度目の全国総合文化祭への参加となった今大会は、高校3年間の書道部での活動の最大の目標で、とても良い体験となりました。

前大会同様、数多くの素晴らしい作品を見ることができた事は、大変貴重な経験となりました。書き手の高い技術や、努力が窺える作品があり、私自身さらなる向上を自覚しました。また、初めて見た表現方法もあり、これを自分の中に吸収したいとも思いました。そして、全国総文はさまざまな地域の書道仲間と交流ができたことも良かったです。

これからも書について学び、たくさんの作品を創つていけたらと思います。



夫々跡誕邇

写真部門

会場：むつ市民体育館

山口高等学校

2年 作間 寛子

今回の作品は入部してはじめて出品した写真だけあって、自分の作品が全国大会に出展できたということだけでも十分驚いたし、とても嬉しかった。また、各地で賞を受けた代表の作品を見ることもできたり、受賞作の講評を聞いたりと、ずいぶんと貴重な体験をさせてもらえたことに感謝している。次があればいいのにとも思う。

写真を撮るという行動はとてもシンプルだ。シャッターを切るだけの作業に優劣はほぼない。カメラを構えてボタンを押せば、誰でもそれなりに撮れる。その後にフィルムを現像したり引き伸ばして印画紙に焼き付けたりというのは、こうして部活でもしていなければ私には縁のないものばかりだったろうが、慣れてしまえばある程度どうにかなるようだ。現に私はたくさんのフィルムや印画紙を無駄にしているが、結果の1つはこうしてそれなりの形を持たせてもらうことができた。

なにが良くてなにが悪いのかは知らないが、多くの芸術と同じように、大会やコンクールといった類いのものに出てしまえば、その写真に優劣をつけられる。ほとんど当たり前のことなので、今更文句もあるわけではないが。とにかく、評価の過程でその地位という印象を確立するには、どうしても技術とか知識とかいうまどろっこしいものが必要になってくる。感性とか偶然だけではやって行けないことだってある。よく知りも

しないで試行錯誤で真似事をしているものだから、私はいつでもそれなりであるのだが、想像を物質に現像するのが難しいことに違いはない。別に私はそれで生きているわけではないので、そう緊迫した問題があるわけではないのだが、だから適当でいいのかというと、それはまた別問題であって、違うのだろう。結果がどうあれ、動機がどうあれ、好きなことだって真剣にやった方がいいに決まっている。

めったに人の作品を見る機会がない私には、全国から寄せられた数多くの作品を見ることができたということに焦点をしづても、本州の端から端まで移動した甲斐というのも十分にあったように感じる。

私がこの全国大会に出品できることはもうないし、そろそろ部活動としての作品を残す時間も少ないけれど、だからといってカメラを捨てるわけではない。今現在、写真でどうこうしたいという目標らしきものはないが、今回の経験を活かせる場面はあるはずだ。写真を撮ることは趣味であって、今の私にとって矜持となるには少し役不足だが、続けることには意味があると思いたい。



囲碁部門

会場：スカルイン黒石

『第29回全国高総文祭

(囲碁部門)に参加して』

防府高等学校

2年 横田 仁美

青森県で第29回全国高校総合文化祭が開催されました。私の出場した囲碁は黒石市に会場があり、全国から約500人の選手による個人戦と団体戦が繰り広げられました。地元の高校生のみなさんがお揃いのTシャツで運営を手伝っていて、会場はとてもよい雰囲気で、あまり緊張せずに対局することができました。

大会に出るといろいろな人と交流して友人ができることも楽しみのひとつです。今回も旅館の大浴場で神奈川の選手と仲良くなることができたのですが、なんとその人と対戦することになり、残念ながら負けてしまいました。結果、4勝2敗で成績はあまりふるいませんでしたが、5位入賞は果たすことができてほっとしています。

青森県ではちょうど「ねぶた祭り」も開催されており、宿泊の旅館の前に来ていた山車を見ることができたのですが、さすが本物の迫力があり感動しました。本州の端から端までは遠く、家族もまだいたことがない青森へ、こうして全国大会出場という形で行くことができて幸せでした。長旅も引率の先生や先輩達のおかげで楽しく過ごすことができました。

今年は京都で開催されます。高校最後の大会なので、ひとつでも上を目指してがんばりたいと思います。



放送部門

会場：三沢市公会堂

山口高等学校

放送部部長 金子 愛

今年の高校総合文化祭放送部門は、青森県三沢市で行われました。8月のうだるような猛暑が続く山口とは対照的に、青森はとても涼しく、過ごしやすさに驚きました。宿泊先の旅館では他校の生徒と合流し、お互いの学校や放送部の活動について話したり、温泉に入ったりして楽しく過ごしました。その旅館にはとても広い庭園があり、そこで気持ちよく発声や原稿の練習ができました。大会当日、全国から集まった生徒たちで会場は熱気に包まれていました。練習場や外の広場でも発声練習の声が響いていました。初日はアナウンス部門です。アナウンスは自分で原稿を書くので、その内容が大きく評価され、いつも題材探しに苦労します。今回の大会では、短い時間の中でも、それまで知らなかった興味深い話題がたくさん聞けました。山口県では、錦帶橋や岩国蓮根、山口大内氏の歴史が発表されました。二日目の朗読部門で、私は、山口県出身の画家・香月泰男さんがシベリア抑留中に綴った日記を朗読しました。

戦争によって自由が奪われ、極寒のシベリアで捕虜として生きる中でも、自然の美しさを感じることが出来る自分の眼に、画家としての喜びを見い出す印象的な場面でした。朗読では、作者の伝えたいことをいかにありのまま自然に表現できるかが大切です。今回の発表の中には、BGMを流してうまく朗読を引き立てているものや、同じ作品でも様々な読み方をする朗読を聞くことが出来、とても良い経験になりました。

発表は都道府県ごとに行われ、その後に進行係の人にインタビューされる時間があります。今回朗読組みは、山口市の七夕ちょうちん祭りについて質問されましたが、岩国の生徒には知られておらず、私が答えることになりました。地元のことでも、改めて聞かれると、良く知らなかつたり説明するのが難しかつたりして、スムーズにインタビューが進まないこともあります。山口県の代表として、もっと地元の良さを伝えられたら良かったなと思いました。

総合文化祭に参加して一番に感じることは、開催地の生徒の盛り上がりとやる気です。今回の青森では、かわいいマスコットキャラクターのアリちゃんと親切な生徒の皆さんに迎えられ、青森の良さも存分に感じることができました。また、放送の大会も、3年生にとっては最後の全国大会として充実したものになったと思います。これから総合文化祭も、ますます飛躍して高校生の活躍の場になってほしいです。



将棋部門

会場：古牧温泉

理事長　岡　茂樹
(防府高等学校教諭)

第29回全国高等学校総合文化祭将棋部門兼第41回全国高等学校将棋選手権大会が、7月28～29日に、青森県三沢市の古牧温泉で開催されました。山口県から新幹線を乗り継いで青森入り。本州の西の果てから北の果てまでの、10時間の列車の旅でした。宿舎と会場は四つの建物から成る老舗の温泉で、広すぎてしばしば迷子になる始末でした。疲れた身体と頭を温泉で癒すことができて、最高の環境でした。

山口県から出場した男子団体の宇部高校チームは、3大会連続出場の河野君が安定した実力を發揮して快勝、石田君、名和田君も落着いた指し回して3連勝。久々に初戦を突破しました。その勢いで常連校を破り、ベスト16入りを果たしました。男子個人の岩国高校の藤里君、女子個人の宇部高校の長本さん、高橋さんも初戦を勝ち切り大活躍の山口県勢でした。特に藤里君は優勝候補の土橋君に敗れはしましたが、全国大会でも十分上位を狙える実力でした。遙々山口から北の果てまで行った甲斐がある全国大会でした。

<男子団体> 宇部高等学校

(石田敦士・名和田隆司・河野 健)

- 一回戦 新潟工業高校 (新潟県) 勝 (3勝0敗)
二回戦 湖南農業高校 (滋賀県) 勝 (2勝1敗)
三回戦 希望学園北嶺高校 (北海道) 負 (1勝2敗)

ベスト16

<男子個人>

藤里尚樹 (岩国高等学校)

- 二回戦 饗庭史祥 (宇都宮短期大学付属高) ……勝
三回戦 土橋惇郎 (釜石南高校) ……負

ベスト16

<女子個人>

長本尚子 (宇部高等学校)

- 一回戦 田畑明日香 (志摩高校) ……勝
二回戦 高橋あおい (瑞陵高校) ……負

ベスト64

高橋美妃 (宇部高等学校)

- 一回戦 川原 夕佳 (星陵高校) ……勝
二回戦 小泉亜希子 (藤枝明誠高校) ……勝
三回戦 畑 香奈美 (飯山高校) ……負

ベスト32



文芸部門

会場：弘前文化センター

長府高等学校

3年 下田 裕子

7月27日から、青森県弘前市の弘前文化センターを開催された文芸部門大会に参加し、全国の高校生と交流しました。

展示会場には、青森県にゆかりのある太宰治や寺山修司を始めとした文学者の紹介や、各道府県代表校の文芸誌および文芸部の紹介文が展示され、青森県を文学の視点から眺めるとともに、全国の文芸部の活動状況を知るよい機会になりました。

初日の文学散歩では、まず太宰治の生家である「斜陽館」や「芦野公園」を訪れ、次に「立佞武多（たちねぶた）の館」を見学しました。実際に祭で運行された立佞武多からは、勇壮で豪華な津軽の伝統行事を体感することができました。

全体交流会では、『走れメロス』の一節を代表生徒がそれぞれの出身県の方言で朗読しました。津軽弁、南部弁を筆頭に名古屋弁、土佐弁、まるで外国語を聞いているようだった沖縄弁など、11道府県のお国言葉が披露され、朗読のすばらしさもあって会場からも大きな歓声が上がりました。

短歌部門別交流会は、まず各自が短歌を一首作り、歌の説明をしながら自己紹介をしました。次に寺山修司の歌の一節を用いて連歌形式で作歌後、人気投票を行いました。即興でしたが、全国の水準は高く、すばらしい歌が多く詠されました。

分科会は参加者が自分の歌を紹介し、意見や質問を受ける合評会形式で行われました。忌憚



のない意見が飛び交い、内容の濃い、充実した時間でした。また、他県のレベルの高さを実感でき、とても勉強になりました。

講演は文芸評論家の三浦雅士先生の「いま、なぜ読書か」というお話をしました。読書には年齢がある、という趣旨で、時には脱線しながら、会場中が引きつけられる講演でした。

青森県の高校生達の大会に向けての準備や運営の努力、意気込みを随所に感じ、同じ高校生として感銘を受けることが多くありました。また、全国の高校生と親睦を深めることができ、大きな刺激を得た有意義な4日間でした。

演劇部門

会場：八戸市公会堂

演劇でしか得られないもの～

『報道センター123』の制作・上演に立ち会って

華陵高等学校舞台芸術部

顧問 石田 千晶

4年ぶり、2度目の全国高校総合文化祭出場。周囲の期待も一段と大きく、青森県での開催で多額の旅費を使うというプレッシャーもありました。部員たちも、中国大会で2回の決選投票の末出場権を手にしたという経緯もあって、惜敗した約200校の演劇部員に対する責任を感じ、禁欲的で克己的な8ヶ月を過ごしました。

＜注：演劇は前年中国大会最優秀校が全国出場＞

何より辛かったのは、中国大会まで脚本創作と演出の中心であり、極めて個性的な主役を演じてきた伊勢本歩が卒業することでした。「エースピッチャーのいなくなつた野球部が甲子園に出るってことと同じじゃないか」と言われました。部員たちの不安は相当なものでした。

脚本をゼロから創り直すしかない。残された部員一同覚悟を決めました。「もう泣かない。」今まで指示を仰ぐばかりだった、新部長木村日菜子が驚くほど強く成長しました。「私はイセにはなれないけど、私にしかできないことがある」

報道に関する著書を詠み、放送局に見学に行き、新聞記者の方のお話を聞きました。部員たちの顔が変わりました。報道に携わる方の真摯な態度に触れて、自分たちの芝居の中にあるメッセージの大切さを確信したのです。

全国大会出場経験をお持ちの江後一男先生にアドバイスをお願いしました。動画撮影と作曲を特技とする多才な片岡直史氏を顧問に迎え、華陵舞台芸術部は青森への道を歩み始めました。

異常気象と言われる猛暑の中、発熱する照明を扱うスタッフ、寸暇を惜しんで台詞や動きを確認するキャスト。厳しく長い夏でした。

ようやく辿り着いた青森でもハプニングは続きました。台風で大道具が湿り、破れてしまいました。数名の生徒が、疲れと空調で喉を痛め、耳鼻科に駆け込みました。上演中にも、重要な



役の生徒が過呼吸を起こしました。舞台袖でビニール袋を口に当てる生徒を抱きしめ、「ごめんね、無理させたね。もういいよ。」と、幕を下ろすことを決意した瞬間、その子は毅然と立ち上がり舞台に出て行つたのです。全てが感動でした。涙がとめどなく流れましたが、部員一人一人のひたむきな横顔を瞼に焼き付けました。

全国2500校の演劇部の頂点を競う大会は舞台も観客も最高でした。舞台で何かが起こる度にホール全体がどよめきました。笑いと涙と大喝采に包まれ、観客と一体になる演劇の醍醐味を存分に味わうことができました。上演後、涙をこぼしながら、感動を語り合う部員たちを見て、「やってきて良かった」と実感しました。

幸運にも再度優秀賞受賞。優秀校東京公演では、職人気質の国立劇場の方にびしばし鍛えられ、生徒たちは更に逞しく、賢く成長しました。

現在、多くの学校で部活動の再編が行われています。演劇部を持つ学校もかなり減りました。

演劇は時間と労力のかかる活動です。脚本創作・選定から、台詞を覚え、演出をつけ、お客様に見て頂けるレベルにするまで、かなりの忍耐力を要します。しかし、役作りで、様々な立場の人について考え、その言動を理解すること。仲間と時間をかけて一つのものを創り上げる際の葛藤。音楽、美術、言葉への感性。そして、自分たちのメッセージが観客に伝わった時の感動と達成感。コミュニケーション能力の欠如が心配されるこの時代、これほどの教育力を持つ活動を学校から消してしまってはなりません。

演劇の力を強く実感した1年でした。

山口県高等学校文化連盟 自主事業 実施校一覧

(1)

番号	学校	事業	ピアノ	マリンバ	フルート デュオコンサート	胡弓 打楽器 トランペット	尺八と琴 オペレッタ	交響楽団	演劇	金管合奏	ソプラノ	リコーダー・ リュート
1	安下庄	63					7	4,10				
2	久賀	63						3	10			
3	岩国									1		
4	岩国総合							11		1		
5	岩国商業			3					62, 15			
6	岩国工業							2	6, 8			
7	坂上			63	11			5	3			
8	広瀬		14	63				17				
9	高森							2				
10	柳井							7	11			
11	柳井商業							11	14			
12	柳井工業							14	1, 4, 11			
13	熊毛南	63						6, 17	12			
14	田布施農業						分15	3※	5			分※
15	田布施工業								16			
16	光	63						8	17			
17	光丘							8, 11	14			
18	熊毛北							2, 14	63, 7			
19	下松	63				12	7	15				
20	華陵	63						8	1			
21	下松工業							1				
22	徳山		定4			定10	定8	15	12			
23	徳山北		63					4, 11	8			
24	徳山商業		5	63					3			
25	徳山工業								4, 7	1		
26	鹿野		3			10		9	1, 16			
27	新南陽	63							5, 14			
28	南陽工業		1					62				
29	佐波			63			7					
30	防府											
31	防府西							10		1		
32	防府商業		定63					12	6	1		
33	山口		定62定16				定15	2				
34	山口中央	63	12			10	13					
35	西京	62						4	7			
36	山口農業							5	3			
37	宇部	63										
38	宇部中央		定1				定14	10	63			
39	宇部西							14	10			
40	宇部商業			63				62, 6	3			
41	宇部工業		13	2				8				
42	小野田		定63									
43	小野田工業		定63						4			
44	厚狭			1				15	9※			
45	美祢	62				9		4	2		※	
46	大嶺		4							63, 13, 17		
47	美祢工業							63	10			

ピアノ……弘中孝
マリンバ……水野与旨久
フルート……西田直孝トリオ
トランペット…田宮堅二
胡弓……姜建華・楊宝元

尺八と琴……中村明一、八木美知依
オペレッタ…木月京子ひとりオペラ
交響楽団……山口県交響楽団
演劇……のんた・宇部芸術座・海峡座
金管合奏……東京金管五重奏団

打楽器……韓国の太鼓と踊り
デュオコンサート…三輪郁・菅沼ゆづき
ソプラノ……鶴木絵里
リコーダー・リュート…吉沢実・永田平八

山口県高等学校文化連盟 自主事業 実施校一覧

(2)

番号	学校	事業	ピアノ	マリンバ	フルート デュオコンサート	胡弓 打楽器 トランペット	尺八と琴 オペレッタ	交響楽団	演劇	金管合奏	ソプラノ	リコーダー リュート
48	田 部							1,13	※			
49	西 市							63				
50	豊 浦											
51	長 府								1			
52	下 関 西											
53	下 関 南											
54	下関中等教育								5			
55	下関中央工業							12	6			
56	下 関 工 業	62							2			
57	響		5					1				
58	豊 北	62						3	15			
59	日 置 農 業	63	5			15	9		2,13			
60	大 津	63						12	5			
61	水 産							12				
62	萩	63						3	6			
63	萩 商 業	63						7	2,12,17			
64	萩 工 業							6,16	4,9			
65	徳 佐			分63				63,10	13			
66	奈 古		分17			11		1,9				
67	盲	63	3			16	8,10	7	1			
68	聾											
69	岩 国 養 護		3,13			16			10			
70	田 布 施 養 護		6	17				62				
71	徳 山 養 護		11	1								
72	周 南 養 護		15	17								
73	防 府 養 護	62	3	63	12			16				
74	山 口 養 護							14				
75	宇 部 養 護		63,5,14					1,9	※			
76	下 関 養 護		2,6					16				
77	豊 浦 養 護		11,16				13					
78	萩 養 護		6									
79	下 関 商 業				定14							
80	高 水								62			
81	柳 井 学 園		6						63			
82	聖 光							2				
83	山 口 県 桜 ケ 丘											
84	誠 英								7,9			
85	多々良学園											
86	中 村 女 子	63						2,5	11,16			
87	野 田 学 園	63						※				
88	山 口 県 鴻 城							10	12,15			
89	宇 部 鴻 城							7	9			
90	慶 進											
91	美 栄 中 央											
92	錦江町立大野川農訓							1,5,15	11			
93	サ ビ エ ル											
94	早 鞠											
95	下 関 短 期 大 学 付 属	62,63	4				7		8			
96	長 門								6			
97	萩 光 塩 学 院											

(注) <62～平17……実施年度><※印……平成18年度実施予定>

《自主事業》山口県交響楽団演奏会

～演奏会を聞いて～

広瀬高等学校 善岡 裕太

僕は、この演奏会を聞くまで音楽にあまり興味がありませんでした。でもこの演奏会を聞いてその考えは一気に変わりました。まず最初に聞いた「威風堂々」では思わず「あっ。この曲聞いたことがある。」と、つい小声で言ってしまいました。その後あった楽器紹介では、見たことのあるけど名前の知らなかった楽器や、こんな楽器あったんだと驚くこともありました。

次にあった「指揮者に挑戦」では、先輩たちや中学生などが指揮者をやっていました。そんな中でひときわ異才を放っていたのは、うちの高校の数学教師である久保先生でした。緩急がすごくて、みんな大笑いでした。そして最後に聞いたサウンド オブ ミュージックでは、とても楽しい気持ちになりました。

そんな演奏会を聞いて、僕は音楽に興味を持ち吹奏楽部に入りました。



広瀬高等学校

安村 有香

5月23日、広瀬高等学校の体育館で山口県交響楽団の方々の演奏会がありました。交響楽団などの演奏を聞

くのは初めてだったので、とても楽しみでした。実際に演奏を聞いてみて知らない曲もいくつかあったけど、ハリー・ポッターやサウンドオブミュージックなど、私達がよく知っている曲も演奏して下さったのでとても楽しめました。

演奏の他に各楽器の紹介もありました。初めて見る楽器もいくつかあって、その楽器についての説明もして下さったのでとてもよく分かりました。舞台と会場の距離もけっこう近かったので、一つ一つの楽器の音もよく聞くことができました。今回の演奏を聞いて音楽について興味を持つことができました。今日は本当にありがとうございました。

《自主事業》水野与旨久マリンバコンサート

奈古高等学校須佐分校

2年 久保田恵里

マリンバという楽器を初めて知り、初めて演奏を聞いた。木琴の音なのかと思ったら少しちがい優しい音だなと思った。音楽で病気を治せるなんて最近はすごいなと思った。心が安らぐし、ずっと聞いていたら治るのかなと思う。聞こえない音を聞けるようになりたいし、自分をちゃんと知れたらなと思った。今日の演奏は知らない曲もあったけど知っている曲もあって聞けて良かったなあと思った。ビートルズの曲は2つとも知っていて聞いていてとても楽しかっ

たです。アンコールの曲では手がものすごく速く動いてすごいなと思った。バチをどうしたらあんなにたくさん使えるか知りたい。自分も少しマリンバをやってみたいと思った。



《自主事業》三輪郁・菅沼ゆづきデュオコンサート

周南養護学校

高等部3年

三輪さん、菅沼さんへ

ピアノとヴァイオリンの演奏をきかせて下さってありがとうございました。私は生演奏は初めて聴きました。ピアノとヴァイオリンの音がとてもきれいに聞こえました。私は「愛の喜び」がとても心に残りました。またいつか聴かせて下さい。私はもう一回「革命」も演奏してほしかったです。ありがとうございました。



田布施養護学校

♪デュオ・コンサート感想より♪

♪すごかったです。私にはとても弾けないと思いました。ピアノが上手です。ドレスも可愛いです。来てくださってほんとうによかったです。また聴きたいです。三輪郁さん ありがとうございました。菅沼ゆづきさん ありがとうございました。

♪～コンサートをきいて思ったこと～
このまま永遠に続けばいいのに…。貴方といつまでも幸せでいたいな。お花畠を窓からじっくりとながめる。甘いひととき…

♪ヴァイオリンの人は上手で、ピアノにのってやっていたので、お二人の友情はすごいな～、と思いました。ピアノをやってた人はとてもきれいです。



♪「愛のあいさつ」を聞いて、キレイな曲だな～っと思いました。ビデオで観たときに手がものすごく動いていたのでビックリ！しました…。ヴァイオリンでは、ものすごくキレイな音を出していたのでスゴイと思いました。私が弾いたらヴァイオリンがこわれてしまうかも知れません。デュオコンサートを聴けてうれしかったです。三輪さん菅沼さん本当にありがとうございました。また来てください～～いね。

♪ヴァイオリンの曲がとてもすごくてよかったです。菅沼さんはうれしそうに弾いていてすばらしかったです。

♪ピアノを弾くときは、頭の回転がはやくないとできないので、三輪さんは頭の回転がはやいんだな～と思いました。

♪ピアノとヴァイオリンのハーモニーとってもすばらしかったです。

♪デュオコンサートを聴いて、ヴァイオリンとピアノがとても上手で、音楽は「愛」を感じました。また、いろいろな曲がききたいです。

♪「愛のあいさつ」はテレビで聴いたことがあります。心が落着くような気持ちになります。

《自主事業》巡回演劇公演

宇部芸術座『べっかんこ鬼』を鑑賞して

大嶺高等学校 2年 西川 葵

私は、劇団の方々の本格的な劇を見るのが初めてだったのですが、プロの方の迫力ある演技にとても圧倒されました。ステージの上にもう一つ違う世界があるみたいでスゴイなあ、と思いました。音響にもとても迫力があって、よりいっそう「べっかんこ鬼」の世界に引き付けられました。最後にお父さんが鬼を撃ってしまったシーンでは、父も鬼もどちらも決して悪い人では無いのに、解り合えない為に悲しい結末になってしまったなあ、と思いました。

ユキは盲目だったからこそ、鬼の内面を見つめる事が出来、解り合えたのだと思いました。



あと、劇の所々で登場する風さん達がキレイなあと思いました。最後に出てきた鬼の赤ちゃんも可愛かったです。今回の演劇鑑賞はとても良い経験になりました。

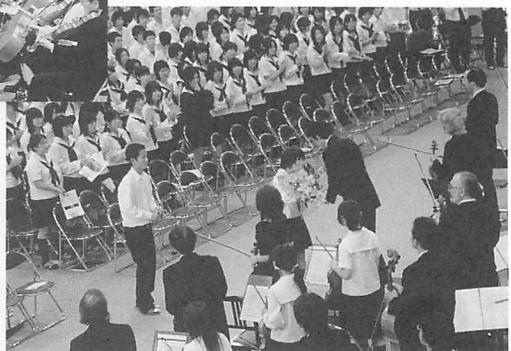
平成17年度 「本物の舞台芸術体験事業」(学校公演)



関西フィルハーモニー 管弦楽団公演

9月27日(火)

於・山口中央高等学校



平成17年度 山口県高等学校文化連盟【事業報告】

月	日	事業	会場
4	14 19	会計監査 第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校
5	(上旬) 9 10 13 23 24 28~29	平成16年度「高文連」発行 三輪 郁・菅沼ゆづき デュオコンサート 三輪 郁・菅沼ゆづき デュオコンサート 山口県交響楽団演奏会 県高校総合文化祭（将棋）	周南養護学校 田布施養護学校 宇部市 広瀬高校 東京都フロラシオン青山 防府市文化福祉会館
6	14 16 17~18 18	水野与旨久マリンバコンサート 県高校総合文化祭総合開会式 県高校総合文化祭（器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・パントワリング） 県高校総合文化祭（日本音楽、吟詠剣詩舞）	奈古高校・須佐分校 スタービアくだまつ スタービアくだまつ 下関市民会館
7	1 26~31 27~31 28	第15回中国地区高文連関係者合同会議 社団法人全国高等学校文化連盟各専門部会 社団法人全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	岡山市 青森県 青森県 青森市
8	27~28	第16回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京都 国立劇場
9	10 27	巡回演劇「劇団のんた」 本物の舞台芸術体験事業（管弦楽）	光高校 山口中央高校
10	7 22 23 25 27~29 28~29	巡回演劇「劇団海峡座」 県高校総合文化祭（文芸） 県高校総合文化祭（囲碁） 山口県交響楽団演奏会 県高校総合文化祭（美術・工芸、書道、写真） 県高校総合文化祭（演劇）	萩商業高校 スタービアくだまつ 宇部高校 熊毛南高校 防府市アスピラート 宇部市渡辺翁記念会館
11	5 12 17 18	県高校総合文化祭（放送） 第7回高校生文芸道場 中国ブロック大会 巡回演劇「宇部芸術座」	ニューメディアプラザ山口 島根県大社町 大嶺高校 山口中央高校
12	17	第7回高校生文芸道場 総合大会	国立オリンピック記念青少年総合センター
1	26~27 28 26~28	第17回全国高等学校文化連盟研究大会 都道府県高文連実務担当者会議	名古屋市 名古屋市 富山市
2	2 13 22	第2回高文連理事長会 社団法人全国高等学校文化連盟第2回通常総会 第2回高文連企画運営委員会	山口中央高校 東京都フロラシオン青山 山口中央高校
3	3 25	平成17年度中国地区高文連実務担当者会議 第25回器楽管弦楽スプリングコンサート	岡山市 岩国市
【その他】 県高校総合文化祭準備（実行）委員会			
総合開会式・音楽関係4部門（下松高校） 展示関係3部門（防府高校） 日本音楽・吟詠剣詩舞部門（下関南高校） 演劇部門（宇部高校） 囲碁部門（宇部高校） 放送部門（山口高校） 将棋部門（防府高校） 文芸部門（高森高校） 各専門部会 各専門部研修会 主管校を中心に開催 部会長校を中心に開催 県下各地において開催			

山口県高等学校文化連盟【共催】
 第9回やまぐち県民文化祭／第44回全日本吹奏楽コンクール山口県大会
 第9回やまぐち県民文化祭／第60回合唱コンクール山口県大会
 第9回やまぐち県民文化祭／第18回全日本マーチング
 フェスティバル山口県大会
 第29回全日本アンサンブルコンテスト山口県大会

【後援】
 第29回全国高等学校囲碁選手権大会山口県大会
 第11回山口県盲・聾・養護学校文化祭美術作品展

平成17年度 山口県高等学校文化連盟会計【決算書】

(収入の部)

(単位：円)

区分	予算額	決算額	増減(減△)	摘要
繰越金	4,743,787	4,743,787	0	
会費	14,007,500	14,098,850	91,350	
(内訳)	13,825,000 67,500 115,000	13,919,850 65,300 113,700	94,850 △ 2,200 △ 1,300	全日制 350円×39,771人 定時制・盲・聾・養... 50円×1,306人 学校負担金 100円×1,137学級
補助金	5,475,000	5,546,000	71,000	
(内訳)	954,000 100,000 4,421,000	954,000 100,000 4,492,000	0 0 71,000	県総文祭県補助金 下松市補助金 全総文祭県補助金
調整基金から繰入	2,000,000	2,000,000	0	
雑収入	3,713	2,318	△ 1,395	利息
合計	26,230,000	26,390,955	160,955	

(支出の部)

区分	予算額	決算額	残額(超過△)	摘要
運営費	1,147,600	1,042,817	104,783	
(内訳)				
事務用品費	220,000	150,118	69,882	事務用品、写真、事務機器維持、賞状筆耕料
通信費	400,000	365,099	34,901	電話、郵便、運送料等、傷害保険料
分担金	527,600	527,600	0	全国高文連会費、賛助会費、中国高文連分担金
会議費	2,040,000	1,669,880	370,120	全国会議122万、研究大会10万、県内会議35万
事業費	21,124,467	18,697,974	2,426,493	
(内訳)				
県総文祭	7,788,532	6,935,069	853,463	総合開会式 各部門大会開催費（別紙）
全総文祭	8,641,935	7,348,801	1,293,134	生徒旅費419万 引率旅費225万 運送費91万
自主事業	1,668,000	1,668,000	0	7公演
大会補助金	50,000	150,000	△ 100,000	盲・聾・養護学校文化祭中国将棋選手権
専門部会費	1,896,000	1,508,104	387,896	研修費 通信費 全国高文連分担金
印刷費	1,080,000	1,088,000	△ 8,000	高文連集録 会報 県総文祭ポスター 賞状
調整基金	0	0	0	
予備費	1,917,933	114,800	1,803,133	カメラ トランシーバー補充
合計	26,230,000	21,525,471	4,704,529	

(収入) 26,390,955 - (支出) 21,525,471 = (繰越) 4,865,484

平成17年度 調整基金会計決算書

(単位：円)

前年度末現在高	一般会計へ繰り出し	今年度末残高
13,000,000	2,000,000	11,000,000

上記の通り相違ありません

平成18年4月12日

監事

野 村

稔 野

監事

伊 村 行 一



平成18年度 山口県高等学校文化連盟【事業計画】

月	日	事業	会場
4	12 19	会計監査 第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校
5	(上旬) 12 23 24 27~28	平成17年度「高文連」発行 鵜木絵里ソプラノコンサート 県高校総合文化祭（将棋）	高文連評議委員会 社団法人全国高等学校文化連盟第1回通常総会 山口市 東京都フロラシオン青山 美祢高校 防府市文化福祉会館
6	6 8 14 15 16~17 17	リコーダーとともに 巡回演劇「劇団のんた」 山口県交響楽団演奏会 県高校総合文化祭総合開会式 県高校総合文化祭（器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・パントワリング） 県高校総合文化祭（日本音楽、吟詠剣詩舞）	田布施農業高校大島分校 宇部養護学校 田布施農業高校 防府市公会堂 防府市公会堂 シンフォニア岩国
7	(上旬)	第16回中国地区高文連関係者合同会議	岡山市
8	1~6 2~6 26~27	第30回全国高等学校総合文化祭 第17回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	社団法人全国高等学校文化連盟各専門部会 京都府 京都府 東京都 国立劇場
9	8	巡回演劇「劇団海峡座」	厚狭高校
10	14 20 21 22 23 28~29	巡回演劇「宇部芸術座」 本物の舞台芸術体験事業（音楽劇） 県高校総合文化祭（芸芸） 県高校総合文化祭（囲碁） 本物の舞台芸術体験事業（音楽劇） 県高校総合文化祭（演劇）	田部高校 下関西高校 周南市市民館 周南市総合スポーツセンター 下関市中等教育学校 山口情報芸術センター
11	(上旬) 3~12 11 16 17 24	県高校総合文化祭（放送） 山口県交響楽団演奏会 第8回高校生文芸道場 中国ブロック大会 本物の舞台芸術体験事業（邦楽・邦舞）	第1回高文連理事長会 第21回国民文化祭やまぐち2006 山口中央高校 山口県内各地 ニューメディアプラザ山口 野田学園高校 岡山市 宇部高校
12	23	第8回高校生文芸道場総合大会	東京都
1	12~14 25~26 26	県高校総合文化祭（美術・工芸、書道、写真）	第18回全国高文連研究大会 都道府県高文連実務担当者会議 山口県立美術館 高松市 高松市
2	1~3 (上旬) 13 (下旬)	第15回全国高文連 将棋新人大会	第2回高文連理事長会 社団法人全国高等学校文化連盟第2回通常総会 第2回高文連企画運営委員会 香川県琴平町 山口中央高校 東京都フロラシオン青山 山口中央高校
3	(上旬) (下旬)	平成18年度中国地区高文連実務担当者会議 第26回器楽管弦楽スプリングコンサート	岡山市 下関市

【その他】 県高校総合文化祭準備（実行）委員会

総合開会式・音楽関係4部門（防府高校）
 展示関係3部門（山口中央高校）
 日本音楽・吟詠剣詩舞部門（岩国高校）
 演劇部門（山口高校）
 囲碁部門（徳山商工高校）
 放送部門（山口高校）
 将棋部門（防府高校）
 文芸部門（徳山商工高校）
主管校を中心に関催予定

各専門部会
 各専門部研修会
部長校を中心に関催予定
県下各地において開催予定

平成18年度 山口県高等学校文化連盟会計【予算書】

(収入の部)

(単位:円)

区分	予算額	前年度予算額	増減(△減)	摘要
繰越金	4,865,484	4,743,787	121,697	
会費	13,297,000	14,007,500	△ 710,500	
(内訳)	13,125,000 61,000 111,000	13,825,000 67,500 115,000	△ 700,000 △ 6,500 △ 4,000	全日制 350円×37,500人 定時制・盲・聾・養... 50円× 1,220人 学校負担金 100円×1,110学級
補助金	3,470,000	5,475,000	△2,005,000	
(内訳)	954,000 100,000 2,416,000	954,000 100,000 4,421,000	0 0 △2,005,000	県総文祭県補助金 防府市補助金 全総文祭県補助金
調整基金から繰入	0	2,000,000	△2,000,000	
雑収入	2,516	3,713	△ 1,197	利息
合計	21,635,000	26,230,000	△4,595,000	

(支出の部)

区分	予算額	前年度予算額	増減(△減)	摘要
運営費	1,147,600	1,147,600	0	
(内訳)				
事務用品費	220,000	220,000	0	事務用品、写真、事務機器維持、賞状筆耕料
通信費	400,000	400,000	0	電話、郵便 運送料等 傷害保険料
分担金	527,600	527,600	0	全国高文連会費、賛助会費、中国高文連分担金
会議費	1,415,000	2,040,000	△ 625,000	全国会議104万、研究大会7.5万、県内会議35万
事業費	17,908,000	21,124,467	△3,216,467	
(内訳)				
県総文祭	7,404,000	7,788,532	△ 384,532	総合開会式 各部門大会開催費（別紙）
全総文祭	6,050,000	8,641,935	△ 2,591,935	生徒旅費324万 引率旅費196万 運送費85万
自主事業	1,668,000	1,668,000	0	7公演
大会補助金	50,000	50,000	0	盲・聾・養護学校文化祭
専門部会費	1,656,000	1,896,000	△ 240,000	研修費 通信費 各部門全国分担金
印刷費	1,080,000	1,080,000	0	高文連集録 会報 県総文祭ポスター
調整基金	0	0	0	
予備費	1,164,400	1,917,933	△ 753,533	
合計	21,635,000	26,230,000	△ 4,595,000	

平成18年度 調整基金会计予算書

(単位:円)

前年度末現在高	一般会計へ繰り出し	今年度末残高
11,000,000	0	11,000,000

山口県高等学校文化連盟規約

平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成3年4月1日改正
平成4年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成9年4月1日改正
平成15年4月1日改正
平成16年4月1日改正
平成18年4月1日改正

第 1 章 総 則

(名称)

第1条 この連盟は、山口県高等学校文化連盟と称する。

(事務局)

第2条 本連盟の事務局を山口市宮島町6番1号山口中央高等学校に置く。

(目的)

第3条 この連盟は、高等学校における生徒の創造活動の向上充実を図り、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資することを目的とする。

(事業)

第4条 この連盟は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 山口県内の高等学校による文化行事の開催に関する事業。
- (2) 全国高等学校文化連盟が主催する行事への派遣に関する事業。
- (3) 芸術文化に関する研修会、講習会、鑑賞会、講演会等の開催に関する事業。
- (4) 高等学校等の文化活動に関する調査研究事業。
- (5) 高等学校による文化活動の国際交流に関する事業。
- (6) その他前条の目的の達成に必要な事業。

(組織)

第5条 この連盟は、山口県内の公立及び私立すべての高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下、「高等学校」という。）並びに高等部を設置している盲学校、聾学校及び養護学校をもって組織する。

2 山口県内を七つの地域に分け、地域ごとに連合体を組織することができる。この場合において、地域の区分は、山口県高等学校校長会の区分と同じものとする。

第6条 この連盟に、次の専門部を置く。

2 演劇、器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・バトントワリング、日本音楽、吟詠剣詩舞、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、文芸の各部門とする。

第 2 章 役 員

(役員)

- 第7条 この連盟に次の役員を置く。
- | | |
|----------------------------|----------------|
| (1) 会長 1人 | (5) 専門部会長 14人 |
| (2) 副会長 若干人 | (6) 専門部理事長 14人 |
| (3) 評議員 95人以上（会長及び副会長を含む。） | (7) 監事 2人 |
| (4) 支部長 7人 | (8) 参与 若干人 |

(役員の選出)

第8条 役員の選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、評議員の互選により選出する。
- (2) 評議員は、加盟校の校長をもって充てる。
- (3) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、各地域及び専門部の推薦に基づき、会長が委嘱する。
- (4) 監事及び参与は評議員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。

2 役員の兼任は妨げない。

(役員の職務)

第9条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、この連盟を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を行う。
- (3) 評議員は、評議員会に出席し、この連盟の事業について審議する。
- (4) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、企画運営委員会を構成し、この連盟の会務を審議し、執行する。
- (5) 監事は、会計を監査する。
- (6) 参与は会長の諮問に応ずる。

(役員の任期)

第10条 役員は高等学校に在籍する者とし、その任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、必要に応じて補充する。ただし、任期は、前任者の残任期間とする。

第 3 章 会 議

(会議)

第11条 この連盟の会議は、次に掲げるとおりとし、会長が必要に応じてこれを召集する。

- (1) 評議員会 (2) 企画運営委員会 (3) 理事長会
- 2 会議の議長は、会長がこれに当たる。
- 3 会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。
- 4 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。
- 5 会議に出席できない構成員は、代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2項の規定の適用については、会議に出席したものとみなす。

(評議員会)

第12条 評議員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 規約の制定及び改廃に関する事項 (2) 予算及び決算に関する事項
- (3) その他、連盟の運営に係わる重要な事項

(企画運営委員会)

第13条 企画運営委員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 評議員から委任された事項 (2) 会務の運営及び執行に関する事項
- (3) その他、連盟の運営に係わる軽易な事項
- 2 企画運営委員会に事業の運営及び執行のために委員会を置くことができる。
- 3 委員会は、事業を主管する校長を委員長とし、委員として当該事業担当の教職員若干人及び専門教職員をもってこれに充てる。
- 4 委員会の委員の任命及び委員会議の招集は、委員長が行うことができる。

(理事長会)

第14条 理事長会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 企画運営委員会から委任された事項 (2) その他各専門部の運営に係わる事項

第 4 章 会 計

(経費)

第15条 この連盟の経費は、各高等学校等の分担金、県内の高等学校等の生徒の会費、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第16条 この連盟の収支予算は、評議員会の決議により定め、収支決算は、会計年度終了後、監事の監査を経て次の評議員会でその承認を得なければならない。

(会計年度)

第17条 この連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計経理)

第18条 この連盟の会計経理の手続きについては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第 5 章 事 務 局

(事務局)

第19条 この連盟の事務を処理するため、事務局を置く。

(運営)

第20条 事務局の運営に関しては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第 6 章 雜 則

第21条 この連盟の規約の施行について必要な事項は、評議員会の議決を経て、別に定める。

附 則

この規約は、昭和62年4月1日から施行する。

山口県高等学校文化連盟諸規程

[会計規程]

昭和62年4月1日制定
平成4年4月1日改正
平成5年4月1日改正
平成8年4月1日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、会計経理に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条 すべての収入、支出は予算に計上しなければならない。

第3条 会長は、収支予算書及び事業計画書の案を作成し、これを評議員会に提出しなければならない。

第4条 会計経理は、収入科目、支出科目及び整理科目を設けて経理の整理をし、現金及び預金出納簿を備え、全ての経理内容を記入するものとする。

第5条 会長は、決算報告書について、監事の監査を受けた後、これを評議員会に提出しなければならない。

第6条 各高等学校は、毎年5月31日までに、会費を納入するものとする。

<会費内訳> 各高等学校生徒一人当たり1年に（全日制生徒）……………350円
（定時制、盲、聾、養護学校高等部生徒）……………50円
各学校負担金（定時制、盲学校、聾学校、及び養護学校は除く）
……………学級数×100円

第7条 この規程の執行に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[事務局規程]

昭和62年4月1日制定
昭和62年7月14日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、事務局の運営に関し必要事項を定めるものとする。

第2条 事務局に次の職員を置く。

- (1) 事務局長
- (2) 事務局員 ア 総務係
イ 庶務係
ウ 会計係

第3条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の事務を統括する。

第4条 事務局員総務係は、事務局長の命を受け、総務・企画・文書・調査研究に関する事項を分掌する。

第5条 事務局員庶務係は、事務局長の命を受け、庶務に関する事項を分掌する。

第6条 事務局員会計係は、事務局長の命を受け、会計に関する事項を分掌する。

第7条 事務局の会計に関する規程その他事務処理上必要な諸規程は、別に定める。

第8条 その他事務局の細目的事項は、会長が別に定める。

第9条 会長が命令する出張等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[表彰規程]

昭和62年4月1日制定
昭和62年7月14日改正
平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成15年4月1日改正
平成18年5月12日改正

第1条 山口県高等学校文化連盟規約第4条6号に基づく表彰規程を次のように定める。

(表彰の種類)

第2条 本規程に基づく表彰は、次のとおりとする。

- (1) 文化功労賞
- (2) その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの。

(文化功労賞)

第3条 本賞は、山口県高等学校文化連盟の生徒であって、当該年度の卒業予定者を対象として授与する。

第4条 受賞人員は在籍生徒数200名に対し1名の割合を原則とする。

第5条 本賞の受賞者の選考は、当該学校に一任する。

第6条 本賞の受賞者の選考基準は、次のとおりとする。

- (1) 人格、識見共に優秀と認める者。
- (2) 芸術文科活動歴が優秀である者、ただし、その活動は学校の内外を問わない。

第7条 各学校は、受賞者を決定し、別記様式(1)により、本連盟事務局あて報告するものとする。

第8条 本賞の授与は、卒業式に関する行事に際し、施行することを原則とする。

(その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの)

(優秀芸術文化賞)

第9条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、14部門において、全国大会等で特に優秀な成績をおさめたと認められた個人並びに団体を対象とする。

(功績賞)

第10条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、長年にわたり本連盟の発展に寄与した者を対象とする。

(優秀指導者賞)

第11条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、14部門において、全国大会等で優秀賞を授与され、且つ、長年にわたり部の指導に当たってきた者を対象とする。

第12条 第9条、第10条、第11条の授賞については、高文連企画運営委員会に諮り、これを決定する。本賞の授与は県総文祭の総合開会式で行うことを原則とする。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[旅費支給基準]

昭和62年4月1日制定
昭和63年4月1日改正
平成元年4月1日改正
平成11年4月1日改正
平成13年4月1日改正
平成16年4月1日改正

- 1 会長が招集する会議等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。
- 2 県総文の運営に関する旅費は、委託された主管校から山口県旅費規程に準じて支給する。
- 3 全国高等学校総合文化際にに関する旅費は、引率教員は山口県旅費規程に準じて支給する。
生徒は [交通費実費（学割・団体割引）+宿泊費（大会規定料金）×2泊] ×1/3とする。
※新幹線のみで100km以上の場合は特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）
※在来線で100km以上の場合は急行または特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）
- 4 専門部会長及び支部長が、県高等学校総合文化祭運営協議会（顧問会議、支部会議等）を開催する場合は、出席者の在籍する各学校でこれを負担するものとする。

平成17年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職名	氏名	支部・専門部	所属校
会長 副会長	中島俊泰 斎藤等裕 貞浜		山口中央高校 岩国高校 下関西高校 宇部フロンティア大学付属香川高校
参与者	沖浦初孝		山口高校
支部長	斎藤等孝 平岡芳郁 棟川俊夫 中島凌泰 島田重之 金田裕浩 貞山浩	支部 支部 支部 支部 支部 支部 支部 下長	岩国柳柳山高 井山高德山高 山防山中高 防部北中部 阪谷字下高 北高高高
専門部会長	小田穰亮 江根亮二 橋山真章 原田一路 田根道郎 多野亮 吉田雄一 小吉(金伊弘) 富田重孝 休田幸重 田東重初 中田初孝 浦田繁	演劇部 器楽・管弦樂部 合唱部 吹奏樂部 マーチングバングル部 日本音楽部 吟詠劍詩舞部 美術部 書寫部 囲碁部 放将棋部 文芸部	山口県鴻城高校 下関南高 宇部中央業城高 岩国商業高 山口県鴻城高 早(宇部府高 防光高 宇光高 宇山高 山防高
専門部理事長	岡村圭吾 田飯幸生 三藤五郎 藤井博 繩田達彦 (古有田松吉 (吉岡森 幸郎 好本道亨 道亨部 邊休賀 古有佃松 吉岡森 途孝子 由喜伸 由幸伸佳 隆由伸佳 馬徳和 吉岡樹 雄子樹 子樹子	演劇部 器楽・管弦樂部 合唱部 吹奏樂部 マーチングバングル部 日本音楽部 吟詠劍詩舞部 美術部 書寫部 囲碁部 放将棋部 文芸部	山口県鴻城高校 下関南高 宇部中央業城高 岩国商業高 山口県鴻城高 早(宇部府高 防光高 宇光高 宇山高 山防高
監事	中行宣 野村稔		防府商業高校 西京高校
事務局長 総務 庶務 庶務 会計	角川悦太郎 柴中正比古 崎新伸芳 竹眞明 近川利子		山口中央高校 山口中央高校 山口中央高校 山口中央高校 山口中央高校

平成18年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職名	氏名	支部・専門部	所属校
会長 副会長	中島俊泰 吉松茂生 貞末俊紀 吉野裕生		山口中央高校 岩国高校 下関高校 下誠英高
参与	沖浦初孝		山口高校
支部長	吉松茂孝 平井孝夫 棟芳郁 中柳俊夫 金島重泰 貞島之裕 金山浩	支部 支部 支部 支部 支部 支部 支部	岩国高校 柳井高校 柳山高校 德山高校 中央高中 宇部高中 下関高校 萩高
専門部会長	小江亮二 橋章太 三吉康博 小吉(金豊弘) 吉田富休 田中和 田中口 浦田豊山 沖豊山	演劇部 器楽部 合唱部 吹奏楽部 日本音楽部 吟詠部 美術部 書写部 団体放送部 碁将棋部 芸能部	山口県鴻城高校 下関南高 中央商業高校 業城高校 山口高 早(宇光) 宇防高 防光高 徳山高 山防高 工山高 商工高 府山高 商工高
専門部理事長	村岡圭幸 飯田五郎 三藤博道 藤繩亨 田邊道喜 (古有田賀富 瀬川泰佳 岡國廣茂 吉岡洋治	演劇部 器楽部 合唱部 吹奏楽部 日本音楽部 吟詠部 美術部 書写部 団体放送部 碁将棋部 芸能部	山口県鴻城高校 下関南高 中央商業高校 業城高校 山口高 早(宇光) 宇防高 防光高 徳山高 山防高 工山高 商工高 府山高 商工高
監事	山本信夫 豊岡芳和		防府商業高校 西京高校
事務局長 事務庶務 庶務計	角中悦太郎 新竹伸芳明 実佳啓子 堀近田利子 豊川真利子		山口中央高校 山口中央高校 山口中央高校 山口中央高校 山口中央高校

全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定

向川栄美作詞

乗松美紀作曲



1. てをのばせば ほら きっとだれかがささえてくれる
2. よびかければ ほら きっとだれかがこたえてくれる



みーわたせ 一ば ほらなかまがいつでもそばにいる きみ
こころをひらけば ほらなかまがいつでもまっている きみ



は ひとりじゃない さある きだそう
は ひとりじゃない さあは ばたこう



ぼくらのぶんかを つくるため一に
ぼくらのぶんかを きずくため一に

全国高文連の歌

一、手を伸ばせば ほら

きっと誰かが支えてくれる

見渡せば ほら

仲間がいつでもそばにいる

君は一人じゃない

さあ歩きだそう

僕等の文化を創るために

二、呼びかけば ほら

きっと誰かが応えてくれる

心を開けば ほら

仲間はいつでも待っている

君は一人じゃない

さあ翔こう

僕等の文化を築くために

山口県高等学校文化連盟
「高文連」編集委員

(各部門)

合 唱	三好 五郎	(県立宇部中央高等学校)
マーチングバンド バトン・トワリング	繩田 道孝	(山口県鴻城高等学校)
器楽・管弦楽	飯田 幸生	(県立下関南高等学校)
吹奏 楽	藤本 博途	(県立岩国商業高等学校)
演 劇	村岡 圭吾	(山口県鴻城高等学校)
日本音楽	田邊 亨子	(早鞆高等学校)
美術・工芸	古賀 隆光	(県立宇部高等学校)
書 道	有富 由美	(県立防府高等学校)
写 真	佃 幸憲	(県立光高等学校)
囲碁	松田 伸雄	(県立宇部高等学校)
将 棋	岡 茂樹	(県立防府高等学校)
放 送	吉川 佳子	(県立山口高等学校)
文 芸	森山 和子	(県立高森高等学校)

(事務局)

事務局長	角中 悅太郎	(県立山口中央高等学校)
総務	柴崎 正比古	()
庶務	新竹 伸芳	()
庶務	実近 佳明	()
会計	豊川 真利子	()

平成17年度
山口県高等学校文化連盟集録
「高文連」

編集・発行 山口県高等学校文化連盟事務局
〒753-0043 山口市宮島町6-1
山口県立山口中央高等学校内
電話 083-932-0818
FAX 083-932-0813

表紙デザイン／山根 緑（山口中央高校2年）

庚十七日

山口